

平成27年度(2015年度)

国際教育

地球市民を地域とともに育てよう Part 14

報告書



公益財団法人滋賀県国際協会

は じ め に

第二次世界大戦から70年目の節目を迎えた今年。世界は平和になったと言えるでしょうか。

2011年から始まった内戦に端を発したシリア難民については、今年2015年9月にギリシャを目指したボートが転覆し溺死したシリア人の幼子の写真が報道されたことをきっかけに、命がけで逃れる大量の難民の姿を浮き彫りにし、ようやく世界中を駆け巡ることとなりました。

周辺諸国はじめ、世界の国々が難民支援へと動き出す中、増え続ける難民の数や、難民に紛れて入国したテロリストによる事件、難民がかかわった犯罪などが報道されるにつれて、各国の難民受け入れ政策や状況も刻々と変化しています。

そうした中、日本の難民受け入れ状況は、昨年度5,000人の申請に対して認定されたのは11人という厳しい実態からみると、そもそも「難民」とはどのような背景から生まれ、どのような課題を抱えているのかに関心を持ち、十分に理解している人はそう多くないのではと思われます。

そこで、今年度は、世界の難民問題について学び、難民支援や受け入れについて関心を高めることをねらいとした講座を開催しました。

ユネスコ憲章の前文にある「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という言葉を礎にし、知り、学び、行動する探究のプロセスを各教育現場において国際教育の中で積み上げていただくことを期待しています。

今年度の国際教育に関する事業の報告をまとめました。みなさまの今後の国際教育の実践の一助となれば幸いです。

平成28年（2016年）3月
公益財団法人滋賀県国際協会

目 次

◇ はじめに	1
◇ 目 次	2

実績報告

◇ 国際教育ワークショップ	3
地球市民を地域とともに育てよう Part 14	
「今こそ知りたい！世界で増え続ける難民 ～あなたは、難民についてどれだけ知っていますか？～」	
講師 午前の部	認定NPO法人難民を助ける会（AAR Japan） 理事・支援事業部長 名取 郁子さん
午後の部	川崎医療福祉大学教授 JICA関西 教師海外研修OB会代表 山中 信幸さん
スカイプ中継	「難民支援の現場から」 JICA青年海外協力隊 加朱 将也さん
開催日	平成27年（2015年）12月27日（日）
会 場	ピアザ淡海207会議室
主 催	公益財団法人滋賀県国際協会
共 催	独立行政法人国際協力機構関西国際センター（JICA関西）
協 力	国際教育研究会 Glocal net Shiga
◇ 国際教育教材体験フェア in 滋賀 Part 6	23
開催日	平成27年（2015年）6月20日（土）
会 場	ピアザ淡海204・206会議室
主 催	公益財団法人滋賀県国際協会
共 催	独立行政法人国際協力機構関西国際センター（JICA関西） 国際教育研究会 Glocal net Shiga

資料集

◇ 滋賀県における国籍別外国人人口	33
◇ 国際教育研究会 Glocal net Shiga活動報告	34
◇ 国際教育・開発教育貸出教材の紹介	36
◇ 講師派遣事業について	54

実績報告

国際教育ワークショップ 報告

地球市民を地域とともに育てよう Part 14

「今こそ知りたい！世界で増え続ける難民

～あなたは、難民についてどれだけ知っていますか？～」

国際教育教材体験フェア in 滋賀 報告

(公財)滋賀県国際協会 平成27(2015)年度 国際教育ワークショップ
地球市民を地域とともに育てようpart 14

今こそ知りたい！世界で増え続ける難民

～あなたは、難民についてどれだけ知っていますか？～

午前の部 世界の難民と私たち：インドシナ難民、シリア難民を例に

■講師の紹介



名取 郁子さん

認定NPO法人難民を助ける会（AAR Japan）理事
支援事業部長

滋賀県出身。膳所高校、京都外国語大学卒業後、民間企業を経て英サセックス大学開発学研究所より開発学修士取得。国連ユニセフ アンゴラ事務所を経て、難民を助ける会駐在代表としてアンゴラ、南スーダンなどで活動。2013年から現職。

■導入

私は滋賀県で中学、高校時代を過ごしました。子どもの頃から父親の仕事の関係で点々とし、社会人になってからも途上国など3、4年ごとに場所を変わるような仕事を続けてきたので、仕事仲間と「私たちも難民みたいなものだよね」と冗談を言うこともあります。でも難民の方々との大きな違いは、私は命の危険を感じて逃げざるを得なかったわけでもなく、そしていつでも日本に戻れますが、難民の方々は祖国に戻れないことです。そうしたことも交えながら、皆さんに難民について考える材料を提供したいと思っています。よろしくお願いいたします。

■「難民を助ける会(AAR Japan)の活動について

私たちは日本にいる難民ではなく、主に海外の難民を支援しています。これは私が4年前に難民支援に行ったところで、ケニアのダダブ難民キャンプというところ。隣国のソマリアはずっと紛争が続いていますが、2011年9月に干ばつが起き、生活できなくなった人たちが1日に1,000人ぐらい国境を越えてなだれ込んできました。



ダダーブ難民キャンプは何もない砂漠にポツンとできた難民キャンプで、当時、人口は45万人近くに膨れ上がっていました。その半分以上が18歳未満の子どもで、難民キャンプでも子どもが多いのです。そこで、学齢期の子どもたちのために教室用のテントを建てました。

私が所属する「難民を助ける会(AAR)」は37年前、日本に逃れてきたインドシナ難民を支援するために始まった団体です。その後日本国内の難民支援は姉妹団体の「さぼうと21」が引き継ぎ、AARは海外の難民支援を主に行っています。政治、宗教、思想に偏らない市民団体として、緊急支援、障がい者支援、地雷対策、感染症対策、啓発活動を行っています。

2015年12月現在、日本人を含め国際職員が77名、そのうち27人が各国事務所におり、現地スタッフも含めて総勢300人ぐらいで活動しています。活動予算は年間予算22億円です。

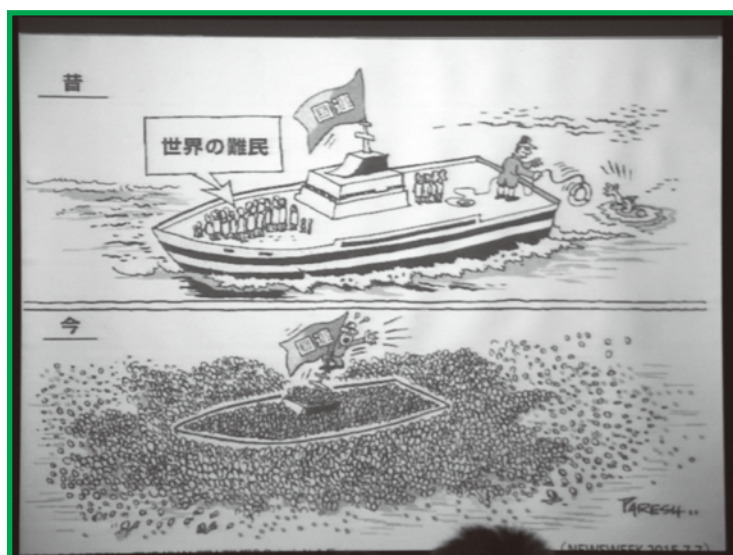


■今起こっている難民問題

今、世界の難民数はどれくらいか、ご存知ですか。去年の夏で、約6,000万人です。日本の人口は1億2,000万人ですから、日本の人口の約半分の難民がいるということです。難民は過去の20世紀のことだと思いがちですが、現在進行中で増え続けています。

これはニューズウィークという雑誌に掲載されていた風刺画ですが、昔は国連も難民を支援する余裕がありましたが、今は増えすぎて手に負えなくなってきています。

今、一番話題になっているのがシリア難民支援ですが、その原因となったシリアの紛争は東日本大震災と同時期の2011年3月に起こり、今も続いています。AARは、2012年からシリア難民支援のためにトルコに入っています。



その当時、トルコに入っているシリア難民の数は約20万人でしたが、今は約220万人になっています。2012年当時は私たちもシリアとの国境に行けましたし、もっと難民キャンプにも入れていましたが、最近は外務省の渡航規制が厳しくなり、2015年2月以降はそれまで入れていたところにも入れなくなっていました。

■難民の定義について

難民とは、正式には国の外に逃れた人のことをいいます。国内を逃げ惑う人は国内避難民と区別しています。

さらに難民には「条約難民」と呼ばれる狭義の難民と、広義の難民があります。

条約難民：人種、宗教、国籍もしくは特定の社会集団の構成員であること又は政治的意見を理由に迫害を受けるおそれがあるという十分に理由のある恐怖を有するために、国籍国の外に在るものであって、その国籍国の保護を受けることができないもの又はそのような恐怖を有するためにその国籍国の保護を受けることを望まない者。

エッセンスとしては、①人種、宗教、国籍もしくは特定の社会集団の構成員であること、あるいは政治的意見などのために、迫害を受ける恐れがあるかどうか、その恐れのために、恐怖を有するかどうか。②迫害を受けそうだという事実関係と、そのことに恐怖感を抱いている当人の心理状態。これが、難民認定をするときの要素になります。これが狭義の難民「条約難民」です。

では、シリアから周りの国やヨーロッパに逃れている人はみんな条約難民なのかというと、そこが結構難しいところです。難民認定を受けるということは、その人が難民として受けるべき支援を受けられるということです。逆に受け入れ国からすると、逃れてきた人全てを難民認定してしまうと支援資金がもたない、ということもあるため、条約難民かどうかを審査するというプロセスがあります。ただし人道的配慮といって、例えば日本でも、難民認定はできないが、一定期間日本に在ることを許可する場合があります。

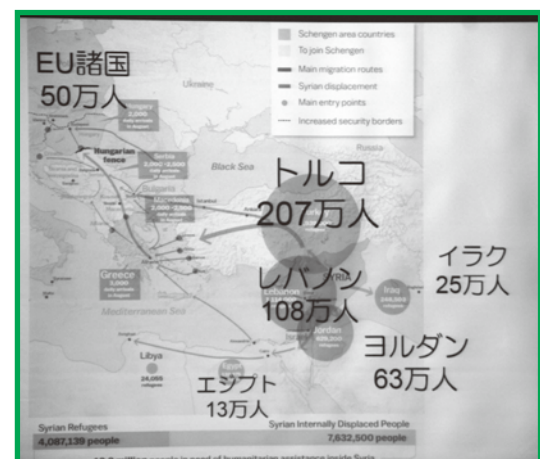
それに対して広義の難民は、難民の支援を扱うUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）が支援する対象です。

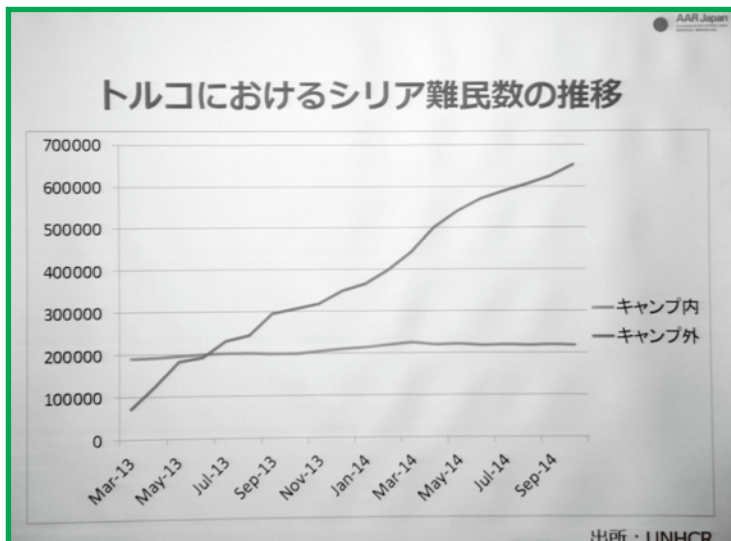
広義の難民：内乱、内戦、外国の支配、外国による占領または重大な政治的混乱の理由で国外にある者。

ケニアのダダブ難民キャンプはUNHCRがこの定義に基づいて支援しているものです。必ずしも条約難民ではないが、難民として支援するということです。

■シリア難民の現状と難民支援

2015年10月の時点で、トルコに220万人のシリア難民がいます。トルコ政府は難民キャンプを作って支援していますが、トルコ政府が提供している難民キャンプには、220万人のうちどれくらいの人たちが入っているのでしょうか。





実はその数は約20万人です。キャンプに入ればその中には学校、病院があり、食べ物も支給されますが、受け入れは27万人が精一杯というところです。トルコに逃れてきたシリア難民はどんどん増えています。そのためキャンプに入れない人のうち、資金や体力のある人はヨーロッパ、または首都のイスタンブールを経て陸路で住みやすい所、仕事のある所へ行く、落ち着いたら家族を呼ぶから、という家族もいます。

あるいは、私は死んでもいいから帰る、といってシリアに戻っていく人もいます。

<トルコ国内の難民キャンプの状況>



- ・シリア難民の半分は17歳以下の子どもたち。
- ・5、6人の子どもがいる家庭も珍しくない。
- ・男性はヨーロッパに行ってしまうたり、シリア国内で戦争に参加していたり、仕事があって国外に出られない人も多く、女性や子ども、高齢者の割合が多い。
- ・市や行政の運営しているキャンプでは、一日3回温かい食事が配給される。

<難民キャンプ外で暮らす難民の状況>



- ・ 難民キャンプに入れない人々は、郊外の廃屋や空き家で暮らしている。
- ・ 近所の人に野菜を分けてもらったり、貯金を切り崩しながら生活している。
- ・ 難民は基本的に仕事をしてはいけなないので、自分の尊厳を保つことが大変。
- ・ 近所の人たちはかわいそうだからと、食料や衣料を分け与えている。
- ・ しかし必ずしも裕福ではなく、長期になると住民との間でもトラブルも起こる。
- ・ AARの職員は必要なものを聴き取り調査し、物資の配布などを行っている。
- ・ 夜は0度、日本と同じような冬。病気になると大変。

<キャンプ内での問題>

- ・ キャンプ内も狭く密集していて、ストレスのたまる環境。
- ・ 難民の多くは農業地帯出身で、もともと村で集まって住んでいる。どこの村から来たのか分からない人と一緒にキャンプに住むことを嫌がる人もいる。
- ・ 国内の紛争が政府勢力、反政府勢力、シーア派、スンニ派等、様々な勢力の争いでもあり、自分の属性などを安易に話せないというストレスもある。

<キャンプ外の問題とAARの支援状況>

- ・ キャンプ外は劣悪な居住環境。どこに何人避難しているのか、把握しにくく支援も届きにくい。
- ・ AARでは、どこに何人のシリア難民が住んでいるか探して歩き、必要な物資や支援を確認した上で支援物資を届けている。

- ・家族構成や何が必要かを聞いて、食料や毛布を配布。生き延びるための支援。
- ・その国の文化に合わせて届ける食料品を選んでいる。
- ・衣料を提供するときはバウチャーシステムを取り入れ、バウチャー（引換券）を配布してそれと引き換えにお店で自分に合う衣料品を選んでもらった。

■避難生活の長期化に対するAARの支援

避難生活が長期化し、3～4年トルコで難民生活をされているシリア難民が増えてきました。シリアの紛争はなかなか終わりそうになく、もし終わっても、地雷がある、仕事がない、すぐ帰れない、などの状況を予想して、トルコで中長期的に生活することを覚悟する人も増えてきています。そこで、AARでは「コミュニティセンター」を開設しました。



- ・トルコ行政からの支援情報の提供
- ・トルコ語講座（シリア人の母語はアラビア語）
- ・現地のトルコ人との交流イベント（料理教室、映画鑑賞会）の開催

などを行っています。トルコ語講座は仕事が見つかるように、またイベントは互いの文化を理解し、地域に溶け込んでいけるように、という目的があります。

シリア難民支援の難しさは、キャンプ外の人たちがどう動いているのか、どこにいるのか分からないことです。先週までいたけど今週いなくなった、という人や、仕事を辞めてスウェーデンやドイツに行った、という人もいます。移動が多いために支援がしづらいという特徴があります。

■日本における難民の支援について

トルコにおけるシリア難民の支援の様子をご紹介しましたが、ここで、日本のインドシナ難民を日本の人たちが、AARも含めてどのように支援したのかを紹介するビデオをご覧いただきたいと思います。

ビデオ「世界を救った難民の母 相馬雪香」

144万人のインドシナ難民を日本以外の先進国は受け入れていたが、日本は24億円の経済援助のみ。それに対して国際平和活動をしていた相馬雪香は何とかしたいと1979年に日本初の難民支援団体を立ち上げ、国民に1人1円の募金を訴え、集まった1億1千万円の募金で衣類、車椅子、眼鏡、学用品などを援助した。



難民には次の3つの選択肢があります。

- ① **自主的帰還**：自分で自分の国に戻る。
- ② **避難先国での定住**：シリア難民がトルコで定住をするなど。
- ③ **第三国定住**：例えば日本は今ミャンマーに対して第三国定住の制度がある。タイの難民キャンプで日本政府が日本で暮らしたい人を募集、審査し、日本に連れてきて、6ヶ月間研修して日本に定住してもらう、という制度があります。

日本において難民の受け入れは、狭義の難民である条約難民については難民認定されれば日本で受け入れるということです。

それとは別に大きな危機があって難民が流入し、条約難民の認定制度では間に合わないときは別枠で受け入れています。それがインドシナ難民への対応でした。全部で1万1,319人が特別枠で日本が受け入れています。

第三国定住ですが、仮にインドシナ難民と今のシリア難民と比べてみました。

インドシナ難民は1975年から79年に日本にボートピープルとして流入し、75年に政治的措置として一時滞在を日本政府が認めました。79年、50人の定住を許可。81年に難民条約に加盟しました。他にアメリカ、カナダ、オーストラリア、ヨーロッパの11か国、香港、中国などが受け入れました。

シリア難民は、すでに日本にいて帰れなくなった人を含め、今年60名が難民申請をしたと言われ、そのうち3人が認定を受けて

います。現時点の受け入れ表明国は、ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、オーストラリア、南米諸国など。ようやく今年ヨーロッパの子どもの写真が世界を駆け巡って大きなニュースになりましたが、私たちは3年前から支援しています。どうしてもシリアは遠い国のことで、ボートで日本に流れ着いてきているわけでもないのに、世論の高まりという意味においてはインドシナ難民のときほどではないのかなと思います。

インドシナ難民	シリア難民
144万人	450万人 (難民流出数世界一)
1975-79年には 計3,083人がボートピープルとして日本に上陸	・日本にいて帰れなくなった人を含め、60人が難民申請(3人が認定)
1975年 政治的措置として一時滞在認める	・9月30日 国連総会一般討論演説で、安倍首相シリア難民受け入れについての言及なし
1979年 500人の定住許可	
1981年 難民条約加入	
米、加、豪、EU11カ国、香港、日本、中国など	EU24カ国、米、加、豪、南米諸国など
東南アジア／仏教	中東国／イスラム教

■AARのソマリア難民キャンプ支援・アフガン難民支援について

次に、ソマリア難民の状況について、どんな経緯だったのかをご紹介します。

2011年に60年に一度という大干ばつが起きました。ソマリアの人々は牛や羊、山羊を飼って生活しています。水不足で家畜が死んでしまい、生活できなくなった人たちがソマリアからケニアに1日1,000人単位で人が流れ込んで来たというのが当時の状況です。



- ・水を口バで運ぶ。ラクダやヤギが家畜として飼われている。
- ・お金がなくなるとヤギを1頭売ってそれで塩を買うという生活。
- ・水がなくなって草がなくなる、ヤギが死んでいく＝生活が成り立たない。
- ・政府機関が地下に掘った水がめに毎日給水車が来て水を入れる。地域の人たちは、ここで水をくむというシステム。



モメナ・フセインさん(27歳)。干ばつで生活を追い詰められ、5人の子どもや親戚など10人で、頭のラクダに荷物を載せ、20日間歩いて町へ疎開してきた。ヤギを30頭つれてきたが、移動の途中で10頭死んでしまった。



ケニア北東部ガリッサで520世帯に食料を配付(米5kg、とうもろこし5kg、砂糖1kg、食用油1リットル)。

- ・上の写真の女性はヤギが死んで生活が出来なくなり、5人の子ども、親戚を連れ、2頭のラクダに荷物を載せて、20日間歩いて来た。
- ・支援物資は食料、米、トウモロコシ、砂糖。これは当分生きるための支援。



子どもの数も急増するダダーブ難民キャンプで、とりあえず新学期が始められるように、学校用フェンスを設置し、仮教室用に15張のテントを建てた(9月8日)。合わせて黒板、チョーク、文房具も1000人分届けた(2011年9月12日)。



- ・小学校の教室のための仮テントを設置。ケニアは9月から3学期が始まるので、9月7日の始業式に間に合わせようと突貫工事でテントを建てた。
- ・家の手伝いで忙しくて勉強する機会がなく、はじめて小学校に行く12歳の男の子もいた。ソマリアはムスリムなので、男の子と女の子と分かれて勉強する。

もう一つ、今度はパキスタンです。パキスタンの女子教育の支援をしています。その様子を12月24日の東京新聞に書かせていただきましたので、参考にしてください。

最後にパキスタンで暮らすアフガニスタン難民の子どもたちの様子を動画で見ていただいて、あとは質問をお受けしたいと思います。



アフガニスタンの難民問題は1979年にソ連がアフガニスタンに侵攻したことで始まって、700万人の難民が生まれました。今は第二世代も生まれています。

(動画の子どもたちが日本語で)「ありがとう」というわけで、ありがとうございました。

■質疑応答



<質問>

難民は基本的に母国がありますが、難民になった時点で無国籍になるのですか。難民認定を受けたら国籍はどうなりますか。

<回答>

国籍は、元いた国の国籍です。例えば、この人は24歳のアフガニスタンの青年ですが、今、京都の貿易会社で働いています。AARの姉妹団体の「さぼうと21」の支援を受けています。11歳のとき、アフガニスタンから日本にやって来ました。大阪で教育を受け、大学まで進んで、数年前にようやく日本国籍を取得し、そのパスポートでようやくアフガニスタンに里帰りができ、家族や親戚と会うことができました。

<質問>

難民キャンプ内の学校ではどんなことを教えているのですか。避難先の国に適応できるような人材を育てる教育なのか、それとも、一時的な教育なのか。

<回答>

トルコのシリア難民については、シリアに戻った時、シリアの学校にそのまま編入できるように、シリアのカリキュラムに基づいた教育を受けているはずで、シリアの教育システムに沿った形で、アラビア語でシリア人の教師のもとで勉強しています。

<質問>

ソマリア難民は、紛争というより干ばつというお話でしたが、環境問題の影響を受けて国境を越えた人たちは条約難民ではなく広義の難民ととらえているのですね。

<回答>

お配りした資料の語彙の説明の中の「斡旋難民」というところを見てください。ソマリア難民の場合は、1日に1,000人のペースで来るので、難民認定ができないため、「斡旋難民」として、とりあえず難民キャンプで保護することになります。

<質問>

難民支援のグループの中で、祖国の紛争解決や平和構築に関わったり、提言をする活動があるのかどうかを教えてください。

<回答>

私たち緊急支援の団体の活動は、川に溺れて流れてくる赤ちゃんを救うことに必死になっていて、川の上流で赤ちゃんを投げ込んでいる人がいることに気がつかない、という側面があります。一方で、例えば、南スーダンでは、難民キャンプから祖国へ帰還してきた人々が祖国で定住していけるように、井戸建設などに取り組みました。帰還民に「平和の恩恵」を感じてもらうことも、平和維持の取り組みの一環です。また、人材育成にも取り組みました。例えばAARでは、南スーダンで行政の人たちと一緒に巻き込んで井戸の管理能力をつけてもらうということをしています。シリア難民問題に対しては、日本は中立的な立ち位置にいると思います。外交努力で日本政府がシリアの和平に貢献することを期待しますが、まだまだ足りないので、みなさんのお力も借りながら強化できればと思っています。

<質問>

ISなどの武装勢力が支配している地域で支援をしている団体はありますか。

<回答>

赤十字や国境なき医師団など大きな組織のNGOはシリア国内でも支援をしています。政府の支配地域はある程度インフラが整っていますが、反政府勢力の地域はインフラが破壊されているので活動が難しい現状にあります。協力してくれる人やグループがいるか、戦闘の前線が今どこにあるのかなど見極めて支援する必要があります。本来NGOは支配地域、反政府勢力支配地域によらず、困っている人がいればそこに支援を届けるのが基本ですが、物理的にどこまでアクセスできるのか、できるところをやっていくしかないという状況になっていると思います。

<質問>

難民はなぜ仕事ができないのですか。

<回答>

基本的には、避難先国でそういうルールがあるということです。外国籍の人が仕事を得るにはしかるべきプロセスを経て許可をもらわなければなりません。例えば、観光ビザでは仕事はしてはいけませんが、就労ビザを取れば、仕事をしていい。これと同じです。

私たちも国際理解教育のサポートプログラムで、教材を提供しておりますので、ぜひご利用ください。ありがとうございました。

難民を助ける会 (AAR Japan)

学ぶ・考える・参加する一学校からはじまる国際協力 国際理解教育サポートプログラム

<http://www.aarjapan.gr.jp/school/>

午後の部 難民について学ぶワークショップ

■講師の紹介



山中 信幸さん

川崎医療福祉大学 教授

JICA関西 教師海外研修OB会 代表

国際理解教育・開発教育の単元開発、教材開発に取り組むと共に、ファシリテーターの養成のあり方について研究している。また、YMCA・JICAなどと連携して開発教育の普及推進に携わり、教員や一般、学生を対象にしたワークショップを数多く実施している。著書『新しい開発教育の進め方Ⅱ 難民』（古今書院）・『開発教育 持続可能な世界のために』（学文社）・『開発教育で実践するESD カリキュラム』（学文社）他

■導入・アイスブレイク

みなさん、こんにちは。よろしくお願いします。午後は、みなさん方が気づいたこと、感じたことを共有しながら進めていく場にしたいと思っています。

最初に、体を動かしてみましょう。私が言う問いかけに対して、その答えでグループを作ってください。

（１）平和を象徴する色ごとにグループになってください。

水色、黄色、白、虹色、オレンジ、ピンク などのグループができた

（２）平和を象徴する動物ごとに、グループになってください。

ジュゴン、キリン、人間、ナマケモノ、犬、猫、シロクマ、ハト など

（３）平和を象徴する職業ごとに、グループになってください。

宗教者・聖職者、教師、医師、NGOの職員、大衆食堂のおっちゃん・おばちゃん
作家、芸術家、自衛隊、パチンコ屋 など

1～10の番号でグループ分け グループ内で自己紹介



■午前中の内容の復習クイズ

一人ひとり、配られた用紙に解答を記入

では、答えの確認をしましょう。

●Q1 バレンタインチョコレートと特殊相対性理論との関係は？

モロゾフとアインシュタイン、どちらも難民です。ユダヤ人としてナチスの迫害から逃れてアメリカに渡ったのがアインシュタイン。帝政ロシアからソ連になる中で日本に来たロシア難民がモロゾフです。

●Q2 世界にどれくらいの難民がいるでしょうか。

難民の数は1,950万人で、このうちの500万人がパレスチナ難民でしたが、実際にはシリアからの難民がどんどん増えているのが現状です。世界で強制的な移動、または避難を余儀なくされている人は5,950万人で、そのうち約3,800万人は国内避難民ということになります。

●Q3 難民を出している数の多い国を3つあげなさい。

①シリア 2015年10月の調べでは、シリア国民の2人に1人が難民になって避難を余儀なくされています。②アフガニスタン ③ソマリア。

●Q4 世界のほとんどの難民は豊かな先進国へ逃れてきているでしょうか。また庇護している難民の数の多い国3つをあげなさい。

いいえ。

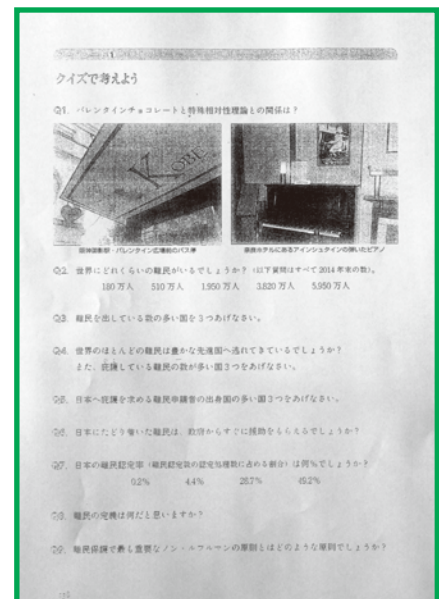
①トルコ ②パキスタン ③レバノン、この3国で86%を占めています。難民の受け入れということでは、先進国よりも途上国で受け入れているのが現実です。

●Q5 日本に庇護を求める難民申請者の出身国の多い国3つをあげなさい。

①ネパール ②トルコ ③スリランカ。ビルマ（現ミャンマー）は4位です。

●Q6 日本にたどり着いた難民は、政府からすぐに援助をもらえるでしょうか？

いいえ。2014年は5,000人の申請者に対して、受け入れ認定されたのが11人でした。日本政府に難民として認定されるまでには半年ほどかかりますが、その間は、働くことは認められていません。そのため野宿の状態になったり、外国人に対する職務質問が厳しかったため、やっと決まったアルバイトに行けずクビになった人もいます。



●Q 7 日本の難民認定率（難民認定数の認定処理数に占める割合）は何%か。

0.2%です。実は、日本に難民申請をされる方自体が少ないのも事実です。ドイツでは10万人規模で申請があるのに対して、日本では 5,000人程度の申請しかありません。また1万人を超えるインドシナ難民を受け入れましたが、その約半分は別の国に出て行っています。

●Q 8 難民の定義は何だと思えますか？

迫害を受ける、または迫害を受けている、または受ける恐れがある。また、母国の保護を受けることができない、受けることを望まない。迫害が一つの大きな要件になってくるわけですが、紛争によって逃れた方も難民として認めようというのが現在の状況です。

●Q 9 ノン・ルフルマンの原則とは？

難民条約に入っている国は、難民をいかなる方法によっても、宗教、国籍、特定の社会的集団の構成員であること、または政治的意見の対立のためにその生命、自由が脅威にさらされることのある恐れのある領域の国境へ追放してはいけないということです。

■迫害とは何かを考える

では、迫害とは何なのでしょう。今、小さいカードを用意しました。グループで話をしながら、これは迫害にあたるかどうか、皆さんで考えてください。

日本の裁判所で採用されている迫害の定義について書いたものを配ります。それを参考に、この事例は迫害か、この事例は迫害でないか、を考えてみてください。

グループタイム

＜カードに書かれた事例＞

- 私は労働組合で活動している。私の町で別の労働組合員が行方不明になり、その後他殺体となって発見された。
- 公共の場で自分の言語を話すことが許されていない。また自分の子どもを自分の言語で呼ぶこともできない。
- 私の両親は私が結婚したくないと思っている人と結婚させようとしている。
- 農地をもっと購入したいが25ha以上の土地を所有することは法律で禁止されている。 など



発表

3つのグループに、話し合った結果を発表してもらいました。

- ① 「労働組合で活動している私のまちで別の労働組合員が行方不明になり、他殺体となって発見された」というもの以外は全部迫害としました。労働組合員の殺害については、この文面だけでは迫害かどうか読み取れなかったから。
- ② 最初は日本の裁判所による迫害の定義を基準に分けていましたが、途中で配られたUNHCRの迫害の定義を見ると、日本の迫害の定義と世界の迫害の定義は違う、それが結局、日本の難民認定の数に影響しているのではないかという意見が出ました。
- ③ 命の危機、権利を奪われることになるのか、というところで迷いました。また、例えば「自分の結婚相手を両親に決められる」が迫害と感じるのは自由主義の立場、先進国の感覚で、国際理解の中でそれでいいのかという素朴な疑問があって迷いました。

このワークは、私たち自身の考え方、認識を問い直すきっかけになります。ただし、情報量が少なすぎて、これだけで判断するのは難しいですね。例えば、「私は夫からDVを受けている。それを警察に相談しても相手にされない」。これは少数民族の人たちが常にそうされる、ということであれば迫害になる。また政府からの指示で警察が、外国人女性がDVを受けても保護しない状況であれば、迫害になると思います。そういうことも含めて、話をする中で、みなさん方自身の考え方や認識を見つめ直すというものです。

■難民になったらどうなる？疑似体験

今から、難民になったらどんな状況に置かれるのか疑似体験していただこうと思います。

この部屋は、滋賀県のびわ湖の前の建物ではないと思ってください。ある国の、ある村です。皆さんはその村の村人です。この国では、以前から政府側と反政府勢力との対立がずっとあって、内戦状態になっています。その反政府組織のある村の村人です。

グループタイム

- (1) グループを作り一つの家族に見立てる。
2, 3人一組となり、家族の名、年齢、性別、家族関係、職業を考えてワークシートに記入。
- (2) 家族を年長、年中、年少に分け、それぞれ部屋の四隅を使って別のところに立つ。



<ストーリー>

今日は休みの日で、隣村に家族そろってやってきました。実は隣村も反政府組織の拠点のある村です。今、それぞれの用事のあるところに行っています。そこに、ある情報が入ってきました。政府軍がこの村に攻めてくるということになりました。

戦車の音

遠くの方から戦車の音が聞こえてきました。戦車が近づいてきました。あれよあれよという間に村は包囲されてしまいます。とうとう攻撃が始まりました。

電気が消える

何もかも見えなくなっていました。みなさん目を閉じて、家族の名前を呼びながら探して、出会えたら肩を組んで座ってください。

暗闇の中で家族を捜す



今でどれくらいの時間だったと思いますか。ちょうど1分ぐらいです。でも、2分に感じた方もおられると思います。このような現場で家族と離ればなれになり、さまよっている時間は、実際より随分長く感じられます。どれくらい長く不安な時間を難民の方は過ごしているかということが考えられます。

<ストーリー>

みなさんは家族と再会し、自分の村に帰ってきました。でも、やがてこちらの村にも攻撃が始まりそうなので、今から車に乗って逃げることになりました。一人10個ずつ物を持って車に乗せて逃げます。

グループタイム：1人10個、持ち物を考える（3分間）

戦車の音が聞こえ、とうとう砲撃も始まりました。家にも砲弾が当たり燃えてしまいました。車も焼けてしまったため、車に乗って逃げることはできません。

グループタイム：家族で3個、持ち物を考える（30秒間）

では、どんなものを持っていかれたのか、聞いてみたいです。

【各グループの持ち出したもの】

- ① 身分証明書、寝袋、ライト
- ② 身分証明書、水、食べ物
- ③ 身分証明書、水、食べ物
- ④ 水、食料、衣類
- ⑤ 食料、飲み物、ナイフ
- ⑥ 現金、水、ロープ
- ⑦ 水、携帯、パスポート
- ⑧ スマホ、食べ物、水
- ⑨ お金、スマホ、水
- ⑩ 筆記用具、貴金属、水の容器

<解説>

- 難民キャンプで提供される水の量は1人1日20～30リットル。それを持って逃げるのは現実的か？
- ナイフを持っていると戦闘地域では、それだけで殺されてしまう可能性がある。
- 現金はその国の政府が倒れてしまうと紙くずになってしまうかもしれない。
- 貴金属は換金できる。パスポートは難民として国外に出る場合に必要。
- 家族の写真があれば、離ればなれになったとき探してもらえらる。

<難民体験すごろく>

- ① 細長い紙を山折りにして、自分の村人名を書きコマを作る。
- ② 家族で重ねてスタート地点に置く。
- ③ 茶、赤、緑、水色、黒のカードを、文字面を下にして置く。
- ④ 家族代表がサイコロを振り、家族ごとに進んだ数だけ進む。
- ⑤ 赤のワクでは赤のカード、黒のところは黒のカードを引く。
- ⑥ B国へ逃げるかどうか選択するカードがある。逃げない場合は黄色いシールを貼る。
- ⑦ 黄色のシールを貼った人が、B国に逃げるか逃げないかのカードを引いて、また逃げないとした場合は赤いシールを貼る。赤いシールを貼った人が次に赤いマスに止まると、死んでしまう。



※死を扱うアクティビティなので辛くなる場合がある。その場合はSOSカードを提示し休憩してよい。



出典：「新しい開発教育のすすめ方Ⅱ 難民」 開発教育研究会編著・古今書院刊 「強いられた移動」より

グループタイム：難民体験すごろく



■私たちはなぜ難民問題に対して行動を取らないのか？

難民生活は平均10年以上です。特に難民キャンプに収容される方の多くは女性と子どもで、男性は本国に残って生活基盤を維持しています。私たちの目には見えないところで厳しい状況に置かれている人たちがいるのですが、現在はニュースなどでもよく目にするようになりました。

みなさんは、そのニュースを聞かれたりする中で、何か行動に移されたでしょうか。恥ずかしながら、私は何もしていません。

一つ映像を見てください。韓国で流されたものです。パレスチナの人たちが兵器を持ったイスラエルの人たちに対して投石で立ち向かっている映像です。

この女性は身を挺^{てい}して、その場で攻撃を抑えることに成功しています。では、私たちは何をしているのでしょうか。

これから、なぜ私たちは難民が出ている事態に対して何も行動を取らないのかを考えてもらいます。「なぜ平和構築に向けて行動を取らないのか」、個人的な要因を付箋1枚につき1個ずつ、出来るだけたくさん出してください。



そのあとグループで共有し、同じ仲間どうしを集めて模造紙に貼り、それぞれの仲間にキャプションをつけてください。

個人で書き出し（3分）そのあとグループタイム

次に、直接自分たちが問題解決に向けて行動ができない社会的な要因について書き出し、グルーピングをしてキャプションをつけてください。

個人で書き出し（3分）そのあとグループタイム

では、3つのグループに発表してもらいます。模造紙を見せながら発表してください。

【グループ発表】



- 地理的な遠さ、心理的な遠さがある。
- 時間がない、お金がない、気持ちの整理がつかない。きっかけがない。どうしていいか分からない。勇気がない。
- 社会的要因として、日本社会は排他的。
- 国内問題が山積しており海外に目が向かない。
- ボランティアへのサポートがない。
- メディアの情報、学ぶ機会が少ない。



- 個人的要因では「時間がない」「無知」のくくりができた。興味がない、対岸の火事、周りが気になる、何をしたいか分からないなど。
- 社会的要因としては外国への意識が低い、正確な情報がないなど教育面。休暇が取れないなどの制度面。これらが良くなると無関心も改善されていくのではないかと。

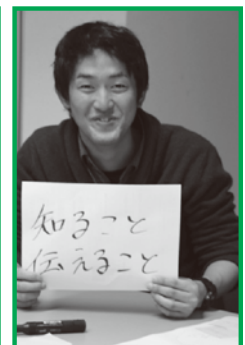
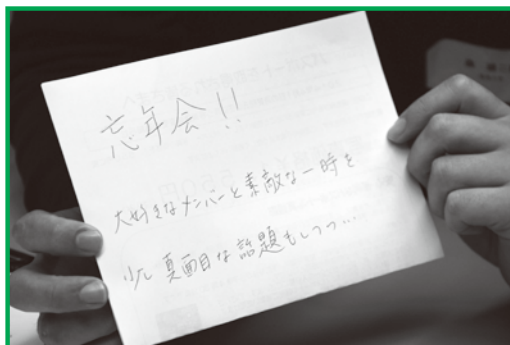
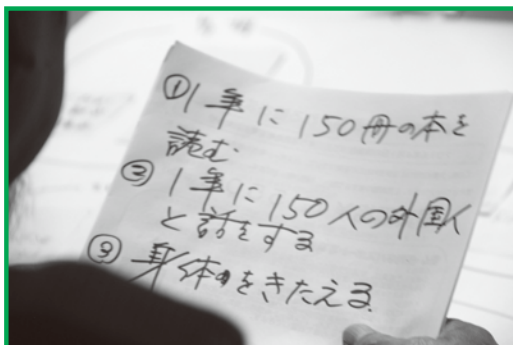


- 基本的には皆さんと同じだが、私たちの社会に大きな貧困という問題を抱えており、本来貧困にある難民には共感が持てるはずだが、貧困がむしろ非寛容、排他的な社会を育てている。その姿勢が排他的、暴力的な考えを生んでいる。今年（2015年）は若者の安保法制反対デモがあり、変わっていくきっかけをじた。

■振り返り

では、この後自分でやってみようと思うことを書いて、グループ内で発表してください。

個人で書き出し そのあとグループタイム



では、これで終わりの時間になりました。今日、気がついたことを一言お願いします。

(参加者より)

実際に体験してみるのとはすごく大事だなと思いました。テレビで難民のニュースを見ても「大変だな」という軽い認識しかなかったのですが、実際に真っ暗闇の中、家族が離れ離れになり、銃声や爆撃音が流れるとかなり怖く、本当にこれは大変だと体で感じる事が出来ました。これからは頭で考えるだけでなく、とりあえずやってみる、海外に行く、ということを大事にしていきたいと思います。

みなさんのおかげで温かい時間を過ごすことができました。ただ単に温かいだけでなく、そこから踏みこんで、今ある現実についてより踏み込んで考えることができる時間を持たせていただきました。ありがとうございました。お互いに拍手をして終わしましょう。

スカイプ中継：難民支援の現場から

JICA青年海外協力隊 加朱 将也さん（滋賀県出身）

こんにちは。はじめまして、JICA青年海外協力隊短期派遣の加朱と申します。今回は短い時間ですが、こちらの現状を報告させていただきたいと思います。

(JICAヨルダン事務所 現地スタッフ

Khaled Mahmoud Jamil ALMashagbhさんの紹介)

私は現在、ヨルダン国内にあるシリア難民が暮らす難民キャンプで活動しています。難民の数は約8万人です。内訳は、男女比が 5 : 5 で非常に若者が多く、50%以上が若者(youth)、うち20%近くが5歳以下となっています。

当初、このキャンプには約20万人の方がおられました。現在は8万人にまで減り、出たり入ったりを繰り返しています。キャンプは、3.3平方キロぐらいの広さがあり、ここに一時は20万人の難民がいたということになります。

今、難民キャンプはヨルダン国内に三つあります。難民はキャンプ内で暮らす人、ヨルダン国内の各都市で生活している人の2種類に分けられ、人数は毎月変動しています。

住居、食べ物、水などの緊急支援は行き渡っています。しかし今は、閉鎖的な環境なので子どもだけでなく大人も大きなストレスを抱えていることが課題となっていることから、教育や福祉の充実が積極的に進められています。一緒に活動しているセーブ・ザ・チルドレン・インターナショナルというNGOでは、インフォーマル教育の充実や戦争体験をしている子どもたちの心のケア、スポーツ、遊び、芸術活動などの機会を提供しています。



■ 質疑応答

<質問>

難民キャンプにいる人たちは、どんなことで困っているのですか。

<回答>

閉鎖的な環境で、選択肢が限られる中で、子どもだけでなく大人にも余裕がなく、ストレスが溜まった状態で生活しています。シリア人は話すと面白くて優しく、日本人とも接しやすいキャラクターですが、戦争で友達を亡くした人や負傷した子どもがいる現状があり、その背景をつかむのは難しい状況です。



<質問>

日本人は観光客としても行けない状態になっているのでしょうか。

<回答>

シリアに関してはJICAも撤退になっており、今は現地スタッフのみで運営されています。日本政府から渡航禁止になっているので旅行者も入れません。国連のスタッフが少しおられるだけです。ヨルダンに関しては、旅行できます。隊員の家族も来ています。

<質問>

難民キャンプから出て行くのにかかる期間、出て行く方法は？

<回答>

何年で出られるかはシリアの情勢が混迷を深めている状態なので、予想が立たない状況です。現地の人もそう感じていると思います。キャンプは国境の近くにあるのですが、すべて国連で難民一人ひとりが登録されている形で管理しているので、自由に出入りできるわけではありません。

貴重な共有ができたと思います。ぜひ活動がんばってください。また、現地の状況を教えてください。ありがとうございました。

2015年度「国際教育教材体験フェア in 滋賀Part 6」

日時：2015年6月20日（土）13:00～16:45

会場：ピアザ淡海

参加者数：52名

主催：滋賀県国際協会

共催：JICA関西、国際教育研究会 Glocal net Shiga

分科会1：

わたしん家の食事から カードゲーム版 ～食文化からみえる異文化～

■講師：川嶋 稔彦さん（国際教育研究会 Glocal net Shiga） ■参加者：31名

1) アイスブレイキング (10分)

例えば、「ゆどうふ」4文字…文字数を考えて、自分が何文字だと思う数の人とグループを組む。何度か繰り返し、最終的には6人～7人のグループに分かれ、テーブルを各チームで用意して、自己紹介を行った。



2) 「わたしん家の食事から カードゲーム版」体験 (30分)

1. 各班に穴埋めシートを配布。一人一枚ずつ手にするよう伝える。
2. 穴埋めシートに当てはまる答えを、まずは各自で考えてもらう。（個々の先入観をみる。）
3. その後、絵カード54枚を机に並べて、皆で話し合いながら、この穴埋めシートに合う答えだろうと思う絵カードを選んでシート上に置いていく。1枚の穴埋めシートごとに6枚の絵カードが揃うよう絵の組み合わせについてグループで合意形成していく。
4. 答え合わせ：講師よりパワーポイントを使って正解の解説をする。



3) 正解を確認してみよう (30分)

<驚いたこと・発見したことは？>

- ◆ エジプトでは、食事の時に、牛乳、コーヒーと一緒に飲むこと。
- ◆ ドイツでは、冷たいものを朝夕に食べると聞いて、野菜はないの？という意見が出た。チーズは含まれていた。
- ◆ ブラジルで、主食に黒豆が含まれているとは思わなかった。

- ◆ ニュージーランドでは、モーニングティー・アフタヌーンティーの時間があつた。旧イギリス領の国ではイギリスの文化が残っているようだ。



4) 振り返り (30分)

○難しかったところ

- ◆ 絵の内容が分かりにくかった。
- ◆ 生卵を食べないから、賞味期限が長くても良いのだな。
- ◆ エジプトなどについては知らないことが多い。でも、ヨーロッパ等は分かる。
- ◆ 各シートに紹介されていた人たちの文化（飲み物、苦手な食べ物など）。
- ◆ 宗教上の理由。
- ◆ 挨拶の文字に関しては、どちらが上か下かもわからない。
- ◆ イタリアのことは知っていても、ドイツのことはあまり知らない。

○初めて知ったこと

- ◆ エジプトでは、炒った米と、生米を混ぜて炊くこと。
- ◆ 参加されていたインドネシア出身の方に、エジプトの挨拶を発音してもらった。イスラム教徒が多い国では、書いた文字は違っていても、アラビア語の読み方は一緒だったこと。

分科会2：

ブラジルでの経験を子どもたちに～JICA教師海外研修実践授業報告～

■講師：山根 孝仁 さん（愛荘町立愛知川小学校教諭） ■参加者：20名

1) 教師海外研修概要説明（JICA滋賀デスクより）（5分）

JICAの開発教育支援事業および教師海外研修の目的について説明があつた。

教師海外研修の旅程説明（昨年度の訪問先紹介ーブラジル サンパウロ、ベレン）

2) 自己紹介

講師の自己紹介の後、グループごとに参加者同士の自己紹介を行った。

3) 授業実践の目的について説明（10分）

講師が、こうした授業を实践しようとした背景には、日々接する言葉の壁にぶつかっている外国人児童の存在があつた。

せっかくブラジルの生徒がいるのにブラジルについて学ぶ機会がないので、外国との違



いを考える時間にしたいと思い、この授業を実践することになった。

ブラジルってどんな国か？ 滋賀県国際協会からブラジルについての教材を借りて実践した。

☆写真を使ったブラジルのクイズ6問

日本とブラジルの比較（面積、人口、人口密度）

日系移民について学習 ← 教えるのが難しい点

→ビデオを使って教える（TVの特集など）

≪教材紹介≫ JICA海外移住資料館 貸出資料（移民カルタなど）

テレビ東京「世界ナゼそこに？日本人」

NHKドラマ「ハルとナツ」

小説「ワイルドソウル」

☆移民カルタ体験（5分）

参加者の感想：

「裏に説明書きがあってわかりやすい」

「食べ物などわかりやすくすぐみつかるね」

○日系移民に関して伝え方が難しい

→ 逆の立場の話につなげるようにする。

（海外から来た外国人の気持ちは？）



- 文字が読めないって？（非識字体験：ネパール語で書かれた 薬、水、毒の例）

- 仲間分けゲーム（32人、15人、16人、1人）

→ 課題：少数派の1人に当たった子が、かなり落ち込んでしまった。

成果：困っている人を助けたいという意見が子どもたちから出た。

- 自分にできること

「ダイヤモンドランキング」

…複数の項目から、優先度の高い順番に並び替えを行うアクティビティ

こうした授業を通して、児童の行動が変わってほしいという思いをもって実践した。

⇒ 思いは持ってくれたが、実際に行動に変わったという変化まではみられなかった…

4) 授業実践の概要を皆さんと一緒に交流 （20分）

日本国籍と外国籍の児童

⇒ グループができてしまう、外国籍の子どもが浮いてしまう。なぜだろう？

ペルーから来た日本語を全く話せない6年生の子どもの例

ークラスに6名外国人児童在籍（湖南省小学校女性の先生）

- 違いを受け入れづらい。
(低学年なら普通に遊んだりするが、高学年は戸惑って何もできない。)
- 自分がしなくても、だれかがやってくれると考えてしまう。
- 日本人生徒が外国人生徒のことを、日本語を話せないことで自分より下にみている。
- 教師自身もその子達の背景を知らない(先入観)。
- 受け入れ体制が整っていない現状。

山根先生が外国人児童を担当した時に戸惑った例

- 火曜日祝日
- 親の通訳として休む児童がいた。

学校で外国人児童生徒支援員を経験された方より

- 昔よりも最近はいろんな課題があることが分かってきた。
(言葉が通じない、文化が違う、家庭事情があるなど)
⇒ただ、どう対処したらいいかは分からない。ケースバイケースで考えて、臨機応変に対応するしかない。
- 逆に、支援が入らない方が、子ども同士だけでうまくいくこともある。
- 支援が必要な場合は、先生がきっかけづくりをすることが大切。
- 行事や勉強の中でその子どもにつながる国の文化を取り入れることで、その国の子どものモチベーションをあげることができる。

5) みんなでどうすればいいか考えていこう(30分)

こうした子どもたちに対して、どのような取り組みができるかについてグループごとに模造紙にまとめる

対象：小学校の外国籍の児童

- 子ども側ができること(黄色の付せん) ○
- 学校側ができること(緑色の付せん) ●

発表(10分)

{Aグループ}

- 簡単なあいさつ
- 班別活動
- 機会を増やす
- 共感する、理解する
- 日本語教室をひらく(居場所づくり)
- 親に協力を仰ぐ(基本的なしつけや母語の教育)

{Bグループ}

- 歓迎のムードづくり(言葉がけ)
- 食文化の話や体験
- あそびを教える
- 掲示板を作る

〔Cグループ〕

- 低学年のうちに外国を知る機会をつくる。（絵本などをとおして）
- 大人が、その国に興味を持ってかかわる姿を見せる（子どもたちも興味もつ）。
- 掲示物で文化など紹介する。
- 対立してしまった場合、お互いになぜそうなったか聞き出して、それぞれの思いを伝え合う。
⇒ ちょっとした勘違いや偏見によって対立してしまう場合が多い。
- 相手を批判するのではなく、自分の思いを伝える。
（その行動はこう感じたのでやめてほしい など。）

〔Dグループ〕

- おせっかいになる。（低学年のうちから）
- 声かけする。
- 共通点を見つける。（アニメやスポーツなど好きなことから目を向ける。）
- 子どもが活躍できる場づくり。
- 相手の立場に立って考える機会づくり。
- 教員自身がその子のバックグラウンドを知る。

6) 最後に（10分）

山根先生は、ブラジルにJICAの日系社会ボランティアとして6月から2年間参加することとなっている。

ブラジルの子どもたちにできること

- ブラジルの日本語教育の特徴と課題

日系子弟の日本語離れ ⇒ 日本人としてのアイデンティティが薄れてきている。

継承語教育

どちらの価値観も理解できる ⇒ すばらしい人！

母語教育も大事！一方で、学習言語としてどちらかをしっかり勉強しておく必要がある。

⇒ そこを大切にしないと、ダブルリミテッド（どっちつかず）な子どもになってしまう。

＜ブラジルでの2年間で大事にしたいこと＞

- ① 学校教育における日本語教育
- ② 日系人としての母語教育
- ③ インクルーシブ教育 ⇒ その子がいるから多くのことが分かる

分科会3：

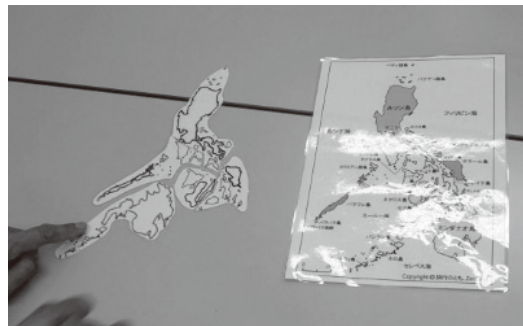
フィリピン紹介グッズ『ハロハロ』とともにフィリピンを体験しよう！

■講師：岡 佑里子さん（国際教育研究会 Glocal net Shiga） ■参加者：30名

1) グループ分け アイスブレイキング

色のついたフィリピン地図のパーツを一人にひとつずつ手渡し、その色に従ってグループ分けをした。

グループ分け：渡された地図のパーツを使って
フィリピンの地図を作る。



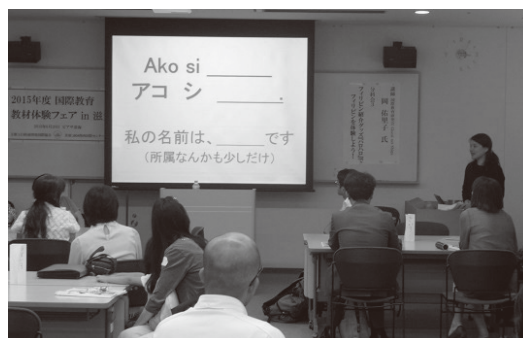
●アイスブレイキング（5分）

フィリピン語で自己紹介してみよう！

「Ako si _____ .」

アコ シ （ 名 前 ）

「私の名前は、_____ です。」



2) フィリピンクイズ（25分）

（日本人に知ってほしい事についてフィリピン人と話して作った問題となっている。）

＜クイズ一例＞

- ・フィリピンの島の数はいくつ？（答：約7000島）
- ・フィリピンの国語はなに？（答：フィリピン語）
- ・日本に住んでいるフィリピン人の数は？（答：約20万人 中国、韓国について3位）

3) ものランゲージ「ハロハロ」(20分)

フィリピンに関連するグッズを一人ひとり手に取って、選んでもらう。

グループの席に戻り、各メンバーが持っているグッズに関連していそうな物をキーワードに沿ってグループ分けしてもらう。

司会者が正しい内容を説明しながら解説。



<キーワード>

バナナ（お菓子、バナナケチャップなど）

椰子（繊維を使ったバッグ、箒、床掃除道具）など



4) ラブラブとマゼランの話（15分）



立場が異なると物事の見解が異なる例として、一つの歴史的な事柄を、フィリピンでは国を守って英雄となったラブラブを称える話として、もう一つは、世界を一周して英雄となったマゼランが現地の人々に命を奪われたと伝わっている話として聞き比べた。

<参加者の感想>

- ◆ 同じようなことは今の日本でも身近に起きている。
- ◆ 文化を押し付けあうことがないように、気をつける必要があると思った。

分科会4：

堀川ユネスコクラブのキセキ ― 国際教育を実践するクラブの歩み ―

■講師：大槻 一彦さん（京都私立堀川高校教諭）、堀川ユネスコクラブWITH ■参加者：22名

1) 顧問 大槻先生の自己紹介（5分）

高校の化学教員。青年海外協力隊として活動したネパールでの経験をいかしたいと思い、開発教育に携わっている。

2) 堀川ユネスコクラブWITH 部員自己紹介（5分）

正規部員は7名だが、その他にもイベントに参加してくれる生徒は34名以上。

3) 活動開始背景の説明（5分）

あるワークショップを実践した際、先進国では稀少金属はとても重要なものなので、原産国では稀少金属をめぐる戦争が起こり、被害者は子どもが多いということを生徒たちは知った。

<生徒の感想>

「私たちは戦争とつながっている・・・」「他にもこんなことってあるの？」

「どうして先生は詳しいの?」「もっと知りたい!」⇒ よし、クラブとして活動してみよう!

4) 活動内容（5分）

- ・クラブ活動：お出かけ（セミナー、講演会等）、交流活動（国際協力関係者、留学生、他校の生徒等）
- ・ゼミ活動：探究活動（世界を知る、教材体験）
教材開発（自主教材作り）

5) 活動紹介（20分）

- 15名グループで課題に向けて研究する。教材作り等。
- 開発教育の全国大会にて、成果発表やディスカッション。教材発表。フィールドワーク（農家、里山など）
- 留学生との交流：日本の学生との違いを学ぶ。
（オーストラリアの多文化主義など）
- セミナー：精華グローバルネットのセミナーで多文化共生、平和について学ぶ。
発表することにより、自分の意見が具体的になった。
- 大学との交流：アイセック京都大学と交流。ラオスから帰国したメンバーとラオスの教育について意見を出し合う。京都造形大学での出前講座。教育、保育が専門の学生とリアル人生ゲームをする。
- その他の高校、大学でも多くの出前講座を開催。



6) 活動を通して生徒や教員が変わったこと（5分）

- ・世界への興味、関心（身近、当事者意識）の高まり
- ・多様な文化の許容（様々な人の意見や考え方を認め、取り込む力ができた。）
- ・コミュニケーション力、プレゼンテーション力アップ
- ・行動力→進路啓発（クラブから世界へ飛び出した生徒も多数出てきた。）

7) 高校生考案「リアル人生ゲーム」体験

- ゲーム紹介：クラブOBが考えた「命を取り扱う」ゲーム
日本、中国、カンボジア、シエラレオネの人々が、様々な人生の岐路をくぐり抜けながら、「寿命」をむかえるというゲーム。
- グループ分け、カード・サイコロ配布
- ルール説明
- ゲーム開始
 - ◇ 各グループに生徒が一人ずつ入り、ルールを確認しながら進めた。

[ゲーム中の感想]

「日本が強すぎる」「悪いことばかり起こる」「みんな死んじゃった」「日本が一番危ない」「すぐ死んで、かわいそう」



➤ 寿命（ゲーム結果）を発表

◇ 各グループの国ごとの寿命を発表した。

感想、改善に向けた提案：

短い寿命という課題を解決するために、何をしたらいいか各グループで相談した。

グループ①：同じ国内でも状況により、寿命の＋－（加算減算）が違う。

社会的な構造の理解を深め、模索していく。

グループ②：各国の現状を知るのが大切。

カンボジア、シェラレオネは政治から正す必要あり。

グループ③：水を確保、管理する技術を持つ。資源や紛争に頼らない国を目指す。

カンボジアでは地雷撤去が必要だが、国際社会はあまり協力的ではないのが現実・・・。

グループ④：シェラレオネは衛生管理などが必要。カンボジアでは戦争が多かったため長生きできない？

グループ⑤：シェラレオネはとりあえずインフラを整える。学校の有無も関係する。紛争にあたると寿命が縮まる。

- まとめ：• カンボジア・シェラレオネ ⇒ 内戦の後遺症から貧困から抜け出せない。
- 途上国の中でも後発開発途上国と新興国の差がはげしい。
- 日本の寿命は長いが、本当に幸せなのか？
- 中国の寿命は延びてきているが、一人っ子政策で今後どうなるか？
- ブラジルは男女の寿命差 ← 暴力犯罪により亡くなる男性多数

8) 活動が続ける力は？

- 強い信念、小さな成果：開発教育により、変化しているわずかな変化も大切にする。
- 情報の収集、人脈の利用：自身が積極的に外に出る。
- 愉しむ！：今日の講演を聞いて、またどこかで開発教育は楽しそう、携わってみたい！と考え始める方がいるとうれしい。

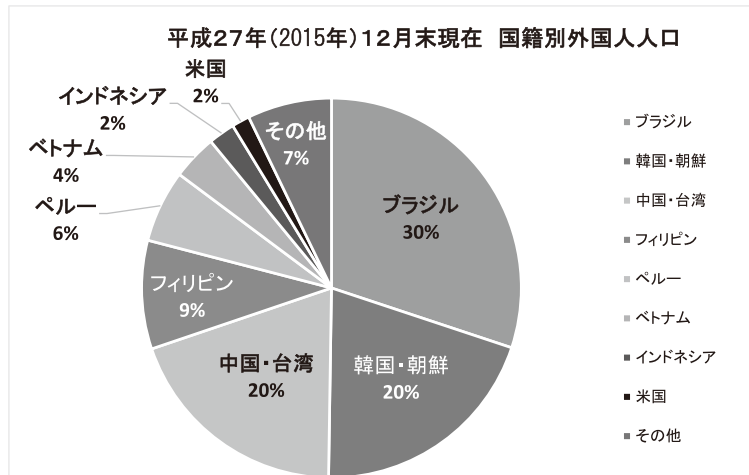
【今回の教材フェアの参加者からの感想】

- ◆ ただ話を聞くだけでなく実際に実物を目にしたり触れたりすることが大切だと感じました。
- ◆ グループで意見を交流しあうことで学びを深めることができました。楽しかったです。
- ◆ ラプラブとマゼラン。思い込みや先入観で見るのではなく、ちがう見方もある。ということに気付くとてもいい教材でした。
- ◆ 堀川高校の取り組みは、学校でも主体的に生徒が動いて活動できることも知れて良かったです。

資料集

- ◇ 滋賀県における国籍別外国人人口
- ◇ 国際教育研究会 Glocal net Shiga活動報告
- ◇ 国際教育・開発教育貸出教材の紹介
- ◇ 講師派遣事業について

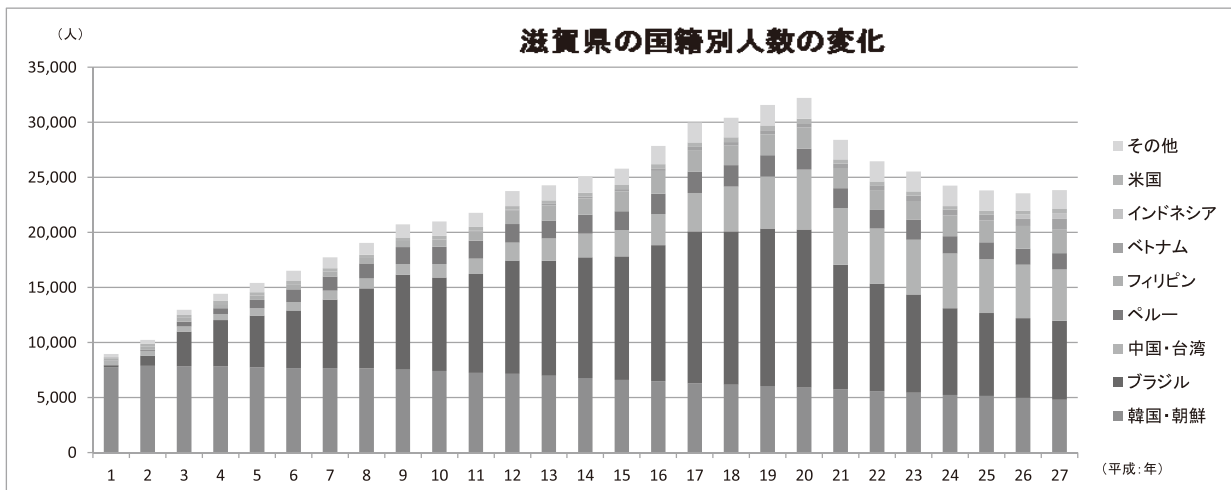
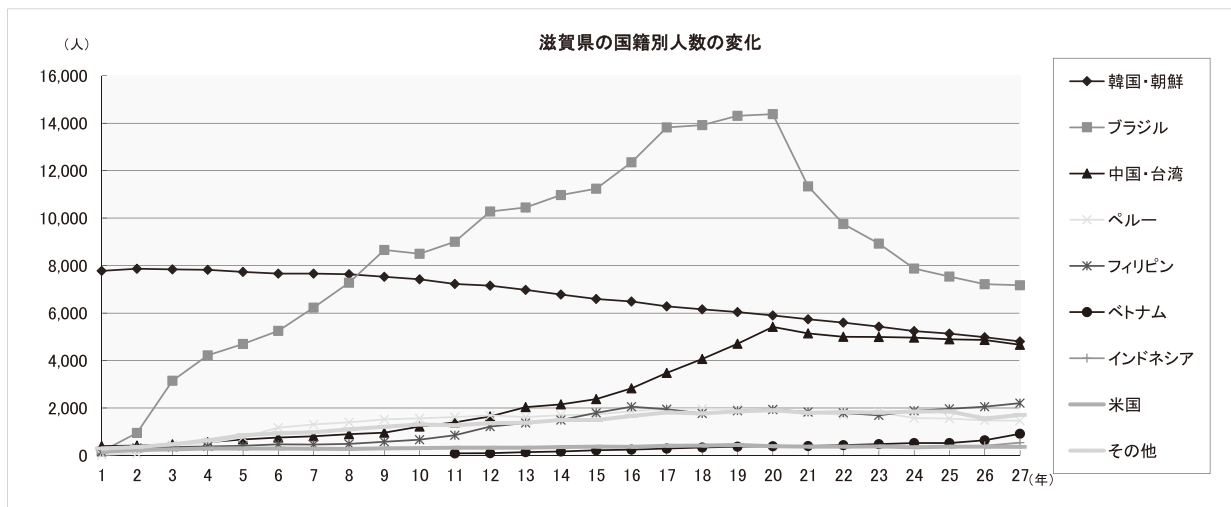
滋賀県における国籍別外国人人口



公益財団法人滋賀県国際協会 作成

国 籍	人口数
ブラジル	7,173 人
韓国・朝鮮	4,802 人
中国・台湾	4,661 人
フィリピン	2,204 人
ペルー	1,468 人
ベトナム	913 人
インドネシア	539 人
米国	363 人
その他	1,710 人
合計	23,833 人

*国籍数等: 88ヶ国1地域



外国人人口の比率が2%以上の市町村 (平成27年12月末現在)

	市町名	外国人人口(人)	総人口(人)	外国人比率(%)	備考(上位3国籍)
1	湖南市	2,225	54,837	4.06%	ブラジル 1,035人, ペルー 356人, 韓国・朝鮮 316人
2	愛荘町	700	21,215	3.30%	ブラジル 406人, フィリピン 87人, 中国・台湾 75人
3	甲賀市	2,642	92,195	2.87%	ブラジル 1,073人, 中国・台湾 399人, フィリピン 333人
4	長浜市	2,971	120,995	2.46%	ブラジル 1,572人, 中国・台湾 457人, ペルー 225人
5	東近江市	2,618	115,304	2.27%	ブラジル 1,253人, 中国・台湾 385人, フィリピン 303人
	県全体	23,833	1,419,802	1.68%	ブラジル 7,173人, 韓国・朝鮮 4,802人, 中国・台湾 4,661人

※滋賀県商工観光労働部観光交流局の調査に基づく。

※平成23年12月末までは外国人登録者数、平成24年12月末以降は住民基本台帳人口による

※平成25年12月末の統計より統計が「中国」「台湾」でそれぞれ統計をまとめています。

※県民60人(59.6人)に1人が外国人

「国際教育研究会 **Glocal net Shiga**」について

私たち、「国際教育研究会 **Glocal net Shiga** (くろーがる ネット し が)」は平成15年(2003年)4月に立ち上がったグループです。名前にある “**Glocal**” とは **Global + Local** を結びつけた造語です。“**Think Globally, Act Locally**” (地球規模で考え、地域から行動する) という開発教育/地球市民教育/グローバル教育の地域社会に対する考え方を現すことばかりあり、地球と地域を結ぶことばとして生まれました。

このような考え方をうけ、地元滋賀 (Shiga) で地域に根ざした人たちをつなぎ (Network)、みんなで一緒に地球市民を育む活動に取り組んでいきたいという思いが込められています。

会のねらいについて

- 地球上には、自国文化を含め、さまざまな生活・文化等があることを知り、多様性を受け入れること **多様性の尊重**
- 地域には、さまざまな文化背景や価値観等をもつ人びとがともに暮らしていることを認識し、多文化共生の意識を育むこと **多文化共生社会づくり**
- 世界と自分はつながっていること、自分たちの生活と地球のどこかで起こっている問題が密接につながっていることを理解すること **相互依存関係の理解**
- 地球的課題を解決するために行動すること **公正・平和な社会づくり**
など

こうしたことをねらいとして、さまざまな実践方法 (おもに参加型学習法) を学びながら、国際教育を促進することを目的としています。教育関係者・国際協力NGO関係者・外国人住民・地域国際協会関係者、学生、青年海外協力隊OVなど、さまざまな立場や経歴の持ち主が参加しています。これまでに滋賀県の特色を生かした題材をとらえ、「ブラジルボックス」・「わたしん家の食事から」「非識字体験ゲーム『ここは、何色?』『はじめてのお見舞い』」・「『言葉がわからない』体験ゲーム 何が起こった? (震災編)」の教材を開発してきました。また、より多くの方に国際教育を体験していただくよう年数回、国際教育ワークショップを開催しております。今後も幅広い知識や情報の交換を行い、より深みのある内容を取り上げていきたいと考えています。

入会について

毎月1回日曜日に例会を開催しています。さまざまな経歴のメンバーが集まるクラブ活動のような会です。渡航経験や語学については、まったく心配していただく必要はありませんので、この研究会にご関心のある方は、お気軽に下記までお問い合わせください。国際教育・開発教育についての企画相談、講師派遣も随時承ります。

<お問合せ先>

公益財団法人滋賀県国際協会 担当 大森

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海 2 階

電話: 077-526-0931 ファックス: 077-510-0601

E-mail: omori@s-i-a.or.jp

研究会 平成27年（2015年）度の主な活動について

開催日	内 容
4 / 19	国際教育教材体験フェア 分科会について 講師依頼対応について、開発教育全国研究集会 自主ラウンドテーブル出展について話し合い
5 / 17	国際教育教材体験フェア 分科会デモンストレーション「フィリピンボックス」「JICA教師海外研修実践授業」 開発教育全国研究集会 自主ラウンドテーブル出展について話し合い
6 / 20	国際教育教材体験フェア 分科会運営、参加
7 / 18	滋賀県総合教育センター 10年経験者選択研修について話し合い 開発教育全国研究集会 自主ラウンドテーブルについて 新教材「わたしん家の食事から カードゲーム版」を使った出前授業について 今年度の国際教育ワークショップ（1日研修）のテーマについて
8 / 21	滋賀県総合教育センター 初任者10年経験者選択研修「国際理解教育」 実施
8 / 30	開発教育全国研究集会 報告 滋賀県総合教育センター 初任者10年経験者選択研修「国際理解教育」報告 近畿高等学校国際教育研究協議会 高校生国際交流セミナー講師対応について、わたしん家の食事から 出前授業の対応について話し合い
9 / 27	ドキュメンタリー「American Ambassadors to Japan」の一部視聴 近畿高等学校国際教育研究協議会 高校生セミナーについて 2015年度国際教育ワークショップ テーマ・講師について話し合い
10 / 12	2015年度国際教育ワークショップ テーマ・講師について話し合い 近畿高等学校国際教育研究協議会 高校生国際交流セミナー 進め方について
11 / 27	近畿高等学校国際教育研究協議会 高校生国際交流セミナー 進め方について 「難民すごろく（シリア編）試作版」体験、今後の講師依頼対応について
12 / 25	近畿高等学校国際教育研究協議会 高校生国際交流セミナーにて「貿易ゲーム」を実践
12 / 27	2015年度国際教育ワークショップ 「今こそ知りたい！世界で増え続ける難民 ～あなたは、難民についてどれだけ知っていますか？～」参加
1 / 31	開発教育連続セミナー（大阪）「今世界で起こっていること～パレスチナ、イスラエル問題から～」参加報告 ネパールの現状報告、次年度 国際教育教材体験フェア 分科会について、次年度 滋賀県総合教育センター 10年経験者選択研修について話し合い
2 / 21	次年度 国際教育教材体験フェア 分科会について、次年度 滋賀県総合教育センター 10年経験者選択研修について、難民すごろく（シリア版）改良作業
3 / 13	次年度 国際教育教材体験フェア 分科会について オリジナル教材を使った講師派遣事業について

【開発教育全国研究集会 自主ラウンドテーブル出展の様子】「わたしん家の食事からカードゲーム版」紹介



【月例会の様子】



国際教育・開発教育教材の紹介および貸し出し規定について

(公財) 滋賀県国際協会

当協会では、国際理解教育および開発教育に関する資料・教材（ビデオ等も含む）を616点（H27年度末現在）所蔵しており、自由に閲覧・視聴することができますので、お気軽にご利用ください。

なお、当協会ホームページからも教材目録、貸出申請書様式が入手できます。

<http://www.s-i-a.or.jp/kokusai/kyouzai/index.htm>

<利用について>

- 閲覧・視聴 どなたでもご自由にご利用いただけます。
ただし、事務所に保管しておりますので、閲覧を希望される場合は、職員にその旨お伝えください。
- 利用時間 日曜日から金曜日まで（祝日を除く） 午前9時から午後5時まで
- 貸 出 原則として、会員および団体（学校を含む）に限りです。
所定の貸出申込書にご記入の上、当協会窓口にご提出ください。
貸出期間：2週間以内（申請により期間延長可能）
貸出冊数：1回5点以内
- 返 却 当協会窓口まで直接ご返却ください。やむを得ないと認められる場合は、借受側の料金負担のもとに郵送・託送を認めます。
なお、破損、紛失の場合は実費をご負担いただきます。



貸出教材の一部

<お問合せ先>

公益財団法人 滋賀県国際協会

〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階

電話 077-526-0931 ファックス 077-510-0601

HP <http://www.s-i-a.or.jp> E-mail siamail@mx.bw.dream.jp

国際理解教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材	名	発行・出版社	種 類	対 象
1	0-0概論1	NGOスタッフのための国内事業ハンドブック		開発教育協会	ブックレット	
2	0-0概論2	参加型 ワークショップ入門		明石書店	書籍	
3	0-0概論3	テキスト国際理解		国土社	書籍	
4	0-0概論4	国際理解教育 地球市民を育てる授業と構想		国土社	書籍	
5	0-0概論5	国際理解 重要用語300の基礎知識		明治図書	書籍	
6	0-0概論6	南北問題と開発教育 地球市民として生きるために		亜紀書房	書籍	
7	0-0概論7	開発教育2006 Vol.53 特集 開発教育と教材		明石書店	書籍	
8	0-0概論8	地球市民教育のすすめかた		明石書店	書籍	小学生以上
9	0-0概論9	はてな？ なぜかしら？ 国際問題 全3巻		教育画劇	書籍	
10	0-0概論10	開発教育2006 No.47		開発教育協会	ブックレット	
11	0-0概論11	開発教育2006 No.49 特集 開発教育のこれまでとこれから		開発教育協会	ブックレット	
12	0-0概論12	開発教育2006 No.50 特集 平和を築く学び		開発教育協会	ブックレット	
13	0-0概論13	開発教育2006 No.51 特集 地域から描くこれからの開発教育		開発教育協会	ブックレット	
14	0-0概論14	開発教育2006 No.52 特集 いのちを育む学び		開発教育協会	ブックレット	
15	0-0概論15	開発教育実践の手引き 開発教育ガイドブック2		国際協力推進協会	ブックレット	
16	0-0概論16	「開発教育」ってなあに？ 開発教育Q&A集 改訂版		開発教育協会	書籍	
17	0-0概論17	開発教育キーワード51 開発教育ブックレットシリーズNo.5		開発教育協議会	ブックレット	
18	0-0概論18	新しい開発教育のすすめ方		古今書院	書籍	小学生以上
19	0-0概論19	新しい開発教育のすすめ方II		古今書院	書籍	小学生以上
20	0-0概論20	World studies 学びかた・教えたハンドブック		国際理解教育センター	書籍	
21	0-0概論21	地球市民を育む学習 -Global teacher, Global learner		明石書店	書籍	小学生以上
22	0-0概論22	DEAR News 100号～		開発教育協会	ニュースレター	
23	0-0概論23	開発教育 特集参加型開発と参加型学習		開発教育協会	書籍	
24	0-0概論24	いっしょにESD！環境・人権・参加の新世紀教育		国際理解教育センター	ブックレット	
25	0-0概論25	「地球時代」の教育とは		岩波書店	書籍	
26	0-0概論26	地域から描くこれからの開発教育		新評論	書籍	
27	0-0概論27	開発教育2008 特集 開発教育と市民性		開発教育協会	書籍	
28	0-0概論28	開発教育2009 特集 開発教育の教師・指導者とファシリテーター		開発教育協会	書籍	
29	0-0概論29	開発教育2010 特集 オルタナティブな経済と開発教育		開発教育協会	書籍	
30	0-0概論30	開発教育2011 特集 オルタナティブな教育と開発教育		開発教育協会	書籍	
31	0-0概論31	パウロ・フレイレ「被抑圧者の教育学」を読む		太郎次郎社エディタス	書籍	
32	0-0概論32	世界で生きるカー自分を本当にグローバル化する4つのステップ		英治出版	書籍	
33	0-0概論33	シティズンシップと教育—変容する世界と市民性		類草書房	書籍	
34	0-0概論34	開発教育2012 vol.59 特集 開発教育 この10年 そして未来へ向けて		開発教育協会	ブックレット	
35	0-0概論35	開発教育2013 vol.60 特集 学びとしてのフェイトレード		開発教育協会	ブックレット	
36	0-0概論36	開発教育2014 vol.61 特集 政治を語る市民社会		開発教育協会	ブックレット	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

37	0-0概論37	地域の問題解決を促進するファシリテーターハンドブック	開発教育協会	ブックレット	
38	0-0概論38	この社会で戦う君に「知の世界地図」をあげよう	文芸春秋	書籍	
39	0-0概論39	グローバル時代の国際理解教育―実践と理論をつなぐ	明石書店	書籍	
40	0-0概論40	100歳のジャーナリストからきみへ (人類)	汐文社	書籍	
41	0-0概論41	100歳のジャーナリストからきみへ (育つ)	汐文社	書籍	
42	0-0概論42	100歳のジャーナリストからきみへ (生きる)	汐文社	書籍	
43	0-0概論43	100歳のジャーナリストからきみへ (平和)	汐文社	書籍	
44	0-0概論44	100歳のジャーナリストからきみへ (学ぶ)	汐文社	書籍	
45	1-0実践事例1	わくわく開発教育 開発教育ブックレットシリーズNo.2	開発教育協議会	ブックレット	
46	1-0実践事例2	いきいき開発教育 総合学習に向けてたカリキュラムと教材	開発教育協議会	ブックレット	
47	1-0実践事例3	つながれ開発教育 学校と地域のパートナーシップ事例集	開発教育協議会	ブックレット	
48	1-0実践事例4	チャレンジ総合的学習1 中学校「国際理解」ファックス教材集	明治図書	書籍	中学生以上
49	1-0実践事例5	「いのち」を考える授業プラン48	小学館	書籍	小学生以上
50	1-0実践事例6	人間関係を豊かにする授業実践プラン50	小学館	書籍	小学生以上
51	1-0実践事例7	みんななどの人間関係を豊かにする教材55	小学館	書籍	小学生以上
52	1-0実践事例8	いっしょに学ぼう Learning Together	国際理解教育センター	ブックレット	
53	1-0実践事例9	TOOL8 8つの参加型く基本ツール>を使いこなす	国際理解教育センター	ブックレット	
54	1-0実践事例10	STEP5 参加型ですすめる5つのステップ	国際理解教育センター	ブックレット	
55	1-0実践事例11	参加型で伝える12のものの見方・考え方	国際理解教育センター	ブックレット	中高生以上
56	1-0実践事例12	対立は悪くない ～学校・地域の問題解決に活かす～	国際理解教育センター	ブックレット	
57	1-0実践事例13	Let's Cooperate 穏やかにもめごとを解決するための学びかた・教えかたハンドブック	国際理解教育センター	ブックレット	
58	1-0実践事例14	ハンドブック 楽しく学び合うワークショップ	国際理解教育情報センター	ブックレット	
59	1-0実践事例15	みんなでつなごう！ 教室と世界 「総合的な学習の時間（国際理解）」に役立つ学習プラン	(財) 福島県国際交流協会	ブックレット	
60	1-0実践事例16	国際理解教育ハンドブック 地域に暮らす外国人と一緒に学ぼう！	名古屋国際センター	ブックレット	
61	1-0実践事例17	参加型学習で世界を感じる 開発教育実践ハンドブック	開発教育協会	ブックレット	
62	1-0実践事例18	開発教育・国際理解教育ハンドブック 小中学校教育員用副読本	国際協力推進協会	ブックレット	
63	1-0実践事例19	教室から地球へ 開発教育・国際理解教育 虎の巻	JICA中部国際センター	ブックレット	
64	1-0実践事例20	対立から学ぼう 中等教育におけるカリキュラムと教え方	国際理解教育センター	ブックレット	中高生以上
65	1-0実践事例21	ERIC レッスンバンク	国際理解教育センター	ペーパー	
66	1-0実践事例22	LESSONバンク 『ワールドスタディーズ』追加・発展教材集	国際理解教育センター		
67	1-0実践事例23	LESSONバンク 『人権教育ファシリテーターハンドブック』追加・発展教材集	国際理解教育センター		
68	1-0実践事例24	活動（アクティビティ）で進める国際理解教育教材 全12セット 2005年改訂版	地球の友と歩む会/LIFE	ワークキット	
69	1-0実践事例25	グローバル・クラスルーム	明石書店	書籍	
70	1-0実践事例26	身近なことから世界と私を考える授業	明石書店	書籍	
71	1-0実践事例27	市民学習実践ハンドブック	開発教育協会	書籍	
72	1-0実践事例28	国際交流・国際協力に基づくESD教材・カリキュラム	松山ESD促進実行委員会	書籍	
73	1-0実践事例29	食からみえる「現代」の授業	太田次郎エディタス	書籍	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

74	1-0実践事例30	はじまりをたどる「歴史」の授業		太郎次郎エディタス	書籍	
75	1-0実践事例31	若者のためのESD 「私」から広がる世界		ESDR	書籍	
76	1-0実践事例32	身近なことから世界と私を考える授業Ⅱ オキナワ・多みんぞくニホン・核と温暖化		明石書店	書籍	
77	1-0実践事例33	世界と私と未来をつなぐ授業づくりガイド 開発教育・ESDを教室へ		開発教育協会	書籍	
78	1-0実践事例34	開発教育実践ハンドブック 参加型学習で世界を感じる[改訂版]		開発教育協会	書籍	
79	1-0実践事例35	社会参画の授業づくり-持続可能な社会に向けて		古今書院	書籍	
80	1-0実践事例36	ファシリテーション・グラフィック入門		明治図書出版	書籍	
81	1-0実践事例37	グループディスカッションで学ぶ社会学トレーニング		三省堂	書籍	
82	1-0実践事例38	「共に生きる」をデザインする グローバル教育教材と活用ハンドブック		メディア総合研究所	書籍	
83	1-0実践事例39	ESD・開発教育 実践者のための ふりかえり・自己評価ハンドブック		開発教育協会	ブックレット	
84	1-0実践事例40	マンガアジア～アジアのマンガから世界を見よう～		名古屋国際センター・国際交流基金	ブックレット	
85	1-0実践事例41	先生とNGOが手をつないだ！地域でつくる国際理解教育		福島県国際交流協会	ブックレット	
86	1-0実践事例42	世界の国を知る 世界の国から学ぶ わたしたちの地球と未来 活用マニュアル		愛知県国際交流協会	ブックレット	
87	1-0実践事例43	世界はともだち2		岩手県国際交流協会	ブックレット	
88	1-0実践事例44	たった一つを変えるだけ：クラスも教師も自立する「質問づくり」		新評論	書籍	
89	1-0実践事例45	生徒の生き方が変わる グローバル教育の実践		メディア総合研究所	書籍	
90	1-0実践事例46	「主体的学び」につなげる評価と学習方法-カナダで実践されるIOEモデル(主体的学びシリーズ-主体的学び研究所)		東信堂	書籍	
91	1-0実践事例47	教育ファシリテーターになる！グローバルな学びをめざす参加型授業		弘文堂	書籍	
92	1-1実践事例1	アクティビティ事典 -2002年度版-		国際理解教育センター	CD	
93	2-0南北問題1	フード・ファースト・カリキュラム 食べものを通じて世界を見つめよう		国際理解教育センター	ブックレット	中学生以上
94	2-0南北問題2	テーマワーク グローバルな視野を活動の中で育てる		国際理解教育センター	ブックレット	
95	2-0南北問題3	食べものから世界が見える		地球市民アカデミア	ワークキット	
96	2-0南北問題4	マジカルバナナ		地球の木	ワークキット	小中学年以上
97	2-0南北問題5	改訂版 NEWマジカルバナナ		地球の木	ワークキット	小中学年以上
98	2-0南北問題6	「援助」する前に考えよう 参加型開発とPLAがわかる本		開発教育協会	ブックレット	
99	2-0南北問題7①②	いい貿易って何だろう いっぱいのコーヒーから考える世界の貿易 開発教育教材シリーズ②		開発教育協議会	ブックレット	中学生以上
100	2-0南北問題8	たずねてみよう！ カレーの世界 開発教育教材シリーズ③		開発教育協議会	ブックレット	小中学年以上
101	2-0南北問題9	改訂版 たずねてみよう！ カレーの世界 開発教育教材シリーズ③		開発教育協会	ブックレット	
102	2-0南北問題10①②	新・貿易ゲーム 開発教育教材シリーズ④		開発教育協会	ブックレット	小学生以上
103	2-0南北問題11	新・貿易ゲーム [改訂版]		開発教育協会	ブックレット	
104	2-0南北問題12	貧困と開発 豊かさへのエンパワーメント		開発教育協会	ブックレット	
105	2-0南北問題13	コーヒーカップの向こう側		開発教育協会	ブックレット	
106	2-0南北問題14	小学校 ユニセフによる地球学習の手引き		教育出版	書籍	小学生以上
107	2-0南北問題15	中学校 ユニセフによる地球学習の手引き		教育出版	書籍	中学生以上
108	2-0南北問題16	地球に学ぶ新しい地理授業		古今書院	ブックレット	
109	2-0南北問題17	私たちの声が聞えますか？ 貧しい人々の声		世界銀行	ブックレット	
110	2-0南北問題18	コンビニ弁当 16万キロの旅		太郎次郎社	書籍	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

111	2-0南北問題19	世界から貧しさをなくす30の方法	合同出版	書籍	
112	2-0南北問題20	世界と地球の困った現実	明石書店	書籍	
113	2-0南北問題21	歩いてみてきていたモノのこし方行く末	京都自由学校	ブックレット	
114	2-0南北問題22	バナナとエビと私たち 岩波ブックレットNo.551	岩波書店	ブックレット	
115	2-0南北問題23	フェア・トレード 公正なる貿易を求めて	新評論	書籍	
116	2-0南北問題24	日本はどこへ行く？	太郎次郎社	書籍	
117	2-0南北問題25	世界の貧困 1日1ドルで暮らす人びと	青土社	書籍	
118	2-0南北問題26	発展神話の仮面を剥ぐ グローバル化は世界を豊かにするのか？	古今書院	書籍	
119	2-0南北問題27	徹底解剖100円シヨップ 日常化するグローバルゼーション	コモنز	書籍	
120	2-0南北問題28	たまちゃんと南の人びと	明石書店	書籍	
121	2-0南北問題29	たまちゃんと南の人びと part2	明石書店	書籍	
122	2-0南北問題30	たまちゃんと南の人びと part3	明石書店	書籍	
123	2-0南北問題31	世界がもし100人の村だったら (英訳付)	マガジンハウス	書籍	小学生以上
124	2-0南北問題32	世界がもし100人の村だったら②	マガジンハウス	書籍	小学生以上
125	2-0南北問題33	世界がもし100人の村だったら③たべもの編	マガジンハウス	書籍	小学生以上
126	2-0南北問題34	世界がもし100人の村だったら④子ども編	マガジンハウス	書籍	小学生以上
127	2-0南北問題35	新・ワークシヨップ版 世界がもし100人の村だったら	開発教育協会	ブックレット	小学生以上
128	2-0南北問題36	改訂版 100人村カードセット	開発教育協会	ブックレット	小学生以上
129	2-0南北問題37①②	100人村ワークシヨップセット		ワークキット	小学生以上
130	2-0南北問題38	レスカの学び	あおもり開発教育研究会	ワークキット	小学生以上
131	2-0南北問題39	ケータイの一生 ― ケータイを通して知る 私と世界のつながり	開発教育協会	ブックレット	
132	2-0南北問題40	お弁当屋さんゲーム ―食のグローバルゼーションを考える	開発教育協会	ブックレット	
133	2-0南北問題41	ケータイの裏側	コモنز	書籍	
134	2-0南北問題42	世界の半分が餓えるのはなぜ	合同出版	書籍	
135	2-0南北問題43	世界がもし100人の村だったら 完結編	マガジンハウス	書籍	
136	2-0南北問題44	NHK地球データマップ 世界の“今”から“未来”を考える	NHK出版	書籍	
137	2-0南北問題45	原木のある森 コーヒーのはじまりの物語	アフリカ理解プロジェクト	書籍	
138	2-0南北問題46	フードマイレージどこからくる？私たちの食べ物	開発教育協会	書籍	
139	2-0南北問題47	世界中から人身売買がなくならないのはなぜ？	合同出版	書籍	
140	2-0南北問題48	ワークシヨップ版 世界がもし100人の村だったら 第3版	開発教育協会	ブックレット	
141	2-0南北問題49	カッパめんから世界が見える	WE21 ジャパン 開発教育部会	ワークキット	
142	2-0南北問題50	地球の水のものがたり～命の水が遠ざかる国～	WE21 ジャパン 開発教育部会	ワークキット	
143	2-0南北問題51	戦闘機1機で学校何校つくれるか？	合同出版	書籍	
144	2-0南北問題52	世界から飢餓を終わらせるための30の方法	合同出版	書籍	
145	2-0南北問題53	旅をしながら	いのちのことば社	絵本	
146	2-0南北問題54	懐かしい未来～ラダックに学ぶこと	なつみらSHOP	書籍	
147	2-0南北問題55	妹は3才 お医者さんがいてくれたなら	合同出版	書籍	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

148	2-0南北問題56	ダイヤモンドはほんとうに美しいのか？	合同出版	書籍	
149	2-0南北問題57	ぼくは8歳、エイズで死んでいくぼくの話聞いて	合同出版	書籍	
150	2-0南北問題58	紛争、貧困、環境破壊をなくすために 世界の子どもたちが語る20のヒント	合同出版	書籍	
151	2-0南北問題59	マジカルバナナ V3	地球の木	ワークキット	
152	2-0南北問題60	ワークシヨップ版 世界がもし100人の村だったら 第4版	開発教育協会	ブックレット	
153	2-0南北問題61	世界の国1位と最下位一国際情勢の基礎を知ろう	岩波ジュニア新書	書籍	
154	2-0南北問題62	世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ	汐文社	絵本	
155	2-1南北問題1	徹底解剖100円シヨップ 日常化するグローバルゼーション	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
156	2-1南北問題2	あぶない野菜 グローバル化する食卓	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
157	2-1南北問題3	奪われたエビ	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
158	2-1南北問題4	エビの向こうにアジアが見える	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
159	2-1南北問題5	コーヒーの秘密 南北問題が見えてくる！	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
160	2-1南北問題6	種子をまもれ！ アグリビジネスとたたかうインド農民	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
161	2-1南北問題7	バナナ植民地・フィリピン	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
162	2-1南北問題8	ゴミを生かす人びと	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
163	2-1南北問題9	路上の子どもたち ブラジル・ストリートチルドレンの闘い	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
164	2-1南北問題10	地球データマップ	NHK	ビデオ	
165	2-1南北問題11	つながっている世界 今日からできることってなんだろう？	和歌山県人権啓発センター	CD	
166	2-1南北問題12	身近なモノを通して考える、世界の貧困・格差・環境 私たちの暮らしと世界のつながり	関西NGO協議会	DVD	
167	2-1南北問題13	あいのり「緑の革命」	日本国際飢餓対策機構	DVD	
168	2-1南北問題14	ゴンドールのやさしい光 パワーポイント版	日本国際飢餓対策機構	DVD	
169	2-1南北問題15	バイオ燃料 畑でつくるエネルギー	アジア太平洋資料センター	DVD	
170	2-1南北問題16	食べるためのマグロ売るためのマグロ	アジア太平洋資料センター	DVD	
171	2-1南北問題17	バームオイル	アジア太平洋資料センター	DVD	
172	2-1南北問題18	懐かしい未来～ラダックに学ぶこと&地域から始まる未来：グローバル経済を超えて	なつみらSHOP	DVD	
173	2-1南北問題19	フードインク		DVD	
174	2-1南北問題20	おじいさんと草原の小学校	アミューズソフトエンタテインメント	DVD	
175	2-1南北問題21	もっと！フェアトレード 世界につながる私たちの暮らし	PARC	DVD	
176	3-0平和1	世界を変えようお金の使い方	ダイヤモンド社	書籍	
177	3-0平和2	戦争をやめさせ環境破壊をくいとめる新しい社会のつくり方	合同出版	書籍	
178	3-0平和3	【図説】世界の紛争地域	PHP研究所	書籍	
179	3-0平和4	ほんのすこしの勇気から 難民のオレアちゃんがおしえてくれたこと	求龍堂	書籍	
180	3-0平和5	母さん、ぼくは生きてます	マガジンハウス	書籍	
181	3-0平和6	正直な気持ちで話そう イスラエル、パレスチナのリアル・ライフ	たちばな出版	書籍	
182	3-0平和7	地雷の村で「寺子屋」づくり	PHP研究所	書籍	
183	3-0平和8①②	Talk for Peace! もっと話そう！	開発教育協議会	ブックレット	中学生以上
184	3-0平和9	アフガニスタンから来たモハメッド君のおはなし	つげ書房新社	書籍	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

185	3-0平和10	ばくの見た戦争 2003年イラク	ポプラ社	書籍	
186	3-0平和11	Peace Archives 平和ミュージアム (DVD付)	岩波書店	書籍・DVD	
187	3-0平和12	なんみん 難民理解のためのワークブック 故郷をはなれて	難民事業本部	ブックレット	
188	3-0平和13	増補改訂版 Talk for Peace もっと話そう！ 平和を築くためにできること	開発教育協会	ブックレット	中学生以上
189	3-0平和14	アジアのころ (英訳付)	自由国民社	絵本	
190	3-0平和15	サニーのおねがい 地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本	
191	3-0平和16	サニー カンボジアへ 続・地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本	
192	3-0平和17	サニー ボスニア・ヘルツェゴビナへ 続々・地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本	
193	3-0平和18	サニー アフガニスタンへ 心をこめて地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本	
194	3-0平和19	難民と地雷 全3巻	草土文化	書籍	小中学年以上
195	3-0平和20	平和のアクティビティブック	YMCA	ブックレット	
196	3-0平和21	ポーボキ、平和って、なに色？	エピック	絵本	
197	3-0平和22	イマジン9 想像してごらん、戦争のない世界を	合同出版	絵本	
198	3-0平和23	ほんのすこしの勇気から 難民のオレアちゃんがおしえてくれたこと	求龍堂	書籍	
199	3-0平和24	クラスター爆弾なんてもういらない。世界から兵器をなくすみんなの願い	合同出版	書籍	
200	3-0平和25	岩波DVDブック Peace Archives 東京・ゲルニカ・重慶 空襲から平和を考える	岩波書店	書籍・DVD	
201	3-0平和26	創造的 (クリエイティブ) に対立解決—教え方ガイド—	開発教育協会・立教大学	書籍	
202	3-0平和27	子どもとできる創造的な対立解決—実践ガイド—	開発教育協会	書籍	
203	3-0平和28	井上さしの子どもにつたえる日本国憲法	講談社	書籍	
204	3-0平和29	『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』	朝日出版社	書籍	
205	3-0平和30	ピースフルな子どもたち 戦争・暴力・いじめを越えて	せせらぎ出版	書籍	
206	3-0平和31	大量破壊兵器、カラシニコフを世界からなくす方法	合同出版	書籍	
207	3-0平和32	ばくらのアフリカに戦争がなくならないのはなぜ？	合同出版	書籍	
208	3-0平和33	さよなら紛争 (14歳の世渡り術)	河出書房新社	書籍	
209	3-0平和34	ダイヤモンドはほんとうに美しいのか？	合同出版	書籍	
210	3-0平和35	ビデオ・メッセージでむすぶアジアと日本—わたしがやってきた戦争のつたえ方 (教科書に書かれなかった戦争)	梨の木舎	書籍	
211	3-1平和1	戦争の傷後 Legacies of War	国連広報センター	ビデオ	
212	3-1平和2	難民女性	UNHCR	ビデオ	
213	3-1平和3	難民になるって、どういうこと？	UNHCR	ビデオ	
214	3-1平和4	難民もみんな同じ地球人	UNHCR	ビデオ	
215	3-1平和5	世界の難民はどこに 2004年GLOBAL VIEW	UNHCR	ビデオ	
216	3-1平和6	ほんのちよっと変えてみよう	UNHCR	ビデオ	
217	4-0環境1	もうひとつの日本地図	野草社	書籍	
218	4-0環境2	1秒の世界	ダイヤモンド社	書籍	
219	4-0環境3	地球がもし100cmの球だったら	世界文化社	書籍	
220	4-0環境4	地球では1秒間にサッカー場1面分の緑が消えている	マガジンハウス	書籍	
221	4-0環境5	あなたが世界を変える日	学陽書房	書籍	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

222	4-0環境6	地球買いモノ白書	地球買いモノ白書	コモنز	書籍	
223	4-0環境7	21世紀の子どもたちが地球を救う	21世紀の子どもたちが地球を救う	プロンズ新社	書籍	
224	4-0環境8	ファシリテーター入門	ファシリテーター入門	つげ書房新社	書籍	
225	4-0環境9	私にできることは、なんだろう	私にできることは、なんだろう	asoom	書籍	
226	4-0環境10	にもの木のある村（ベンガル語訳付）	にもの木のある村（ベンガル語訳付）	大阪国際交流センター	絵本	
227	4-0環境11	森におかえり（英訳付）	森におかえり（英訳付）	自由国民社	絵本	
228	4-0環境12	森が海をつくる（英訳付）	森が海をつくる（英訳付）	自由国民社	絵本	
229	4-0環境13	空気はだれのもの？（英訳付）	空気はだれのもの？（英訳付）	自由国民社	絵本	
230	4-0環境14	ジェイクの海のなかつち（英訳付）	ジェイクの海のなかつち（英訳付）	自由国民社	絵本	
231	4-0環境15	ホテルのくる町（英訳付）	ホテルのくる町（英訳付）	自由国民社	絵本	
232	4-0環境16	エレナとダフニ（英訳付）	エレナとダフニ（英訳付）	自由国民社	絵本	
233	4-0環境17	森の暮らしの記憶（英訳付）	森の暮らしの記憶（英訳付）	自由国民社	絵本	
234	4-0環境18	「私たちのピン川」 北タイ環境教育カリキュラム	「私たちのピン川」 北タイ環境教育カリキュラム	開発教育協会	ブックレット	
235	4-0環境19	食べものから考える環境教育ガイドブック FOOD	食べものから考える環境教育ガイドブック FOOD	エコ・コミュニケーションセンター	ブックレット	
236	4-0環境20	コミュニティー・エンパワメント	コミュニティー・エンパワメント	エコ・コミュニケーションセンター	ブックレット	
237	4-0環境21	環境教育推進ハンドブック	環境教育推進ハンドブック	国際理解教育センター	ブックレット	
238	4-0環境22	地球のみかた 地球について学ぶカリキュラム（生使用）	地球のみかた 地球について学ぶカリキュラム（生使用）	国際理解教育センター	ブックレット	中高生以上
239	4-0環境23	地球のみかた 地球について学ぶカリキュラム	地球のみかた 地球について学ぶカリキュラム	国際理解教育センター	ブックレット	中高生以上
240	4-0環境24	未来を学ぼう わたしと地球を結ぶ価値観とビジョン	未来を学ぼう わたしと地球を結ぶ価値観とビジョン	国際理解教育センター	ブックレット	小中学生以上
241	4-0環境25①②	バーム油のはなし 「地球にやさしい」ってなんだろう？	バーム油のはなし 「地球にやさしい」ってなんだろう？	国際理解教育センター	ワークキット	小学校高学年以上
242	4-0環境26	みみずのカーロ シェファア先生の自然の学校	みみずのカーロ シェファア先生の自然の学校	開発教育協会	書籍	
243	4-0環境27	図解 地球の真実（別冊宝島 1397）	図解 地球の真実（別冊宝島 1397）	合同出版	書籍	
244	4-0環境28	もっと話そう！エネルギーと原発のこと 参加型で学び合うための16の方法	もっと話そう！エネルギーと原発のこと 参加型で学び合うための16の方法	宝島社	書籍	
245	4-0環境29	バーム油の話 「地球にやさしい」ってなんだろう？改訂版	バーム油の話 「地球にやさしい」ってなんだろう？改訂版	開発教育協会	書籍	
246	4-0環境30	水から広がる学び アクティビティ20	水から広がる学び アクティビティ20	開発教育協会	ワークキット	小学校高学年以上
247	4-1環境1	森はどこへ行く オーストラリアの原生林が日本の紙になるまで	森はどこへ行く オーストラリアの原生林が日本の紙になるまで	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
248	4-1環境2	緑の砂漠 植林が環境を破壊する	緑の砂漠 植林が環境を破壊する	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
249	4-1環境3	切り売りされるタイ ブーケット島の観光開発	切り売りされるタイ ブーケット島の観光開発	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
250	4-1環境4	いつかこの木に見守られて タイ植林体験記	いつかこの木に見守られて タイ植林体験記	オイスカ	ビデオ	
251	4-1環境5	緑の革命「あいのり」	緑の革命「あいのり」		ビデオ	
252	4-1環境6	ペットボトルの水	ペットボトルの水	アジア太平洋資料センター	DVD	
253	4-1環境7	世界をめぐる電子ゴミ	世界をめぐる電子ゴミ	アジア太平洋資料センター（PARC）	DVD	
254	5-0人権1	識字BOX	識字BOX	国際識字年推進和泉連絡会	ワークキット・カルタ・ビデオ	小学生以上
255	5-0人権2	人権教育ファシリテーター・ハンドブック 参加型「気づきから築きへ」プログラム	人権教育ファシリテーター・ハンドブック 参加型「気づきから築きへ」プログラム	国際理解教育センター	ブックレット	
256	5-0人権3	いっしょに考えて！ 人権 人権教育ファシリテーターハンドブック 発展編	いっしょに考えて！ 人権 人権教育ファシリテーターハンドブック 発展編	国際理解教育センター	ブックレット	
257	5-0人権4	いっしょにすすめよう！ 人権 人権教育ファシリテーターハンドブック 実践編	いっしょにすすめよう！ 人権 人権教育ファシリテーターハンドブック 実践編	国際理解教育センター	ブックレット	
258	5-0人権5	人権教育のためのコンパス [羅針盤]	人権教育のためのコンパス [羅針盤]	明石書店	書籍	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

259	5-0人権6	同和問題・人権問題学習教材（パート4） こうもりくん	滋賀県解放県センター	ブックレット	
260	5-0人権7	国際理解教育と人権	開放出版社	書籍	
261	5-0人権8	ブエノス・ディアス・ニッポン ～外国人が生きる「もうひとつの日本」～	ラティーナ	書籍	
262	5-0人権9	知っていますか？ 死刑と人権 一問1答	解放出版社	書籍	
263	5-0人権10	非核と先住民族の独立をめざして	現代人文社	ブックレット	
264	5-0人権11	デカセーギ 逆流する日系ブラジル人	草思社	書籍	
265	5-0人権12	米軍に土地を奪われた沖縄人	新読書社	書籍	
266	5-0人権13	ええぞ、カルロス	大阪市立総合生涯学習センター	絵本	
267	5-0人権14	チョコレートから世界が見える人権を基盤にしたESD教材	ヒューライツ大阪	書籍	
268	5-0人権15	『人権で世界を変える30の方法』（ヒューマンライツ・ナウ編）	合同出版	書籍	
269	5-0人権16	あなたとわたしの幸せを築く世界人権宣言 世界人権宣言	世界人権宣言大阪連絡会議	ブックレット	
270	5-0人権17	ヘイトスピーチとたたかう！	岩波書店	書籍	
271	5-0人権18	人権教育指導資料集 人権教育を進めるために	長野県教育委員会	書籍	
272	5-0人権19	地球市民の人権教育－15歳からのレッスンプラン	解放出版社	書籍	
273	5-1人権1	国際人権を知っていますか ～国連と市民のとりくみ～	ヒューライツ大阪	ビデオ	
274	5-1人権2	自立をめざして ～アジアの女性と子どもたち～	ヒューライツ大阪	ビデオ	
275	5-1人権3	日本の国際化と人権 ～違いを認めあう地域社会を～	ヒューライツ大阪	ビデオ	
276	5-1人権4	女たちが語るインド	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
277	5-1人権5	もうひとつの戦争 インドの人口政策と女性たち	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
278	5-1人権6	映画ジャビルカ日本語版 私たちの電気がアポリジニの大地を壊す	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
279	5-1人権7	ミナの実顔 37言語収録版DVD	ACCU	DVD	
280	5-1人権8	"DVD もうひとつのツーリズム「先住民族エコツアーの始動」 NGONPOキャンペンハンドブック"	NPO法人さっぽろ自由学校「遊」	DVD	
281	6-0英語教育1	JAPAN ALMANAC 2005 英和対訳データ年鑑	朝日新聞社	書籍	
282	6-0英語教育2	公立小学校でやってみよう！ 英語	草木文化	書籍	小学生以上
283	6-0英語教育3	総合英語：地球市民として生きる	三修社	ブックレット	高校生以上
284	6-0英語教育4	英語で国際理解教育（CD付）小学1・2年版	小学館	書籍・CD	小低学年以上
285	6-0英語教育5	英語で国際理解教育（CD付）小学3・4年版	小学館	書籍・CD	小中学年以上
286	6-0英語教育6	英語で国際理解教育（CD付）小学5・6年版	小学館	書籍・CD	小高学年以上
287	6-0英語教育7	小学校英語の授業プラン つくって調べる地球環境（CD付）	小学館	書籍・CD	小高学年以上
288	6-0英語教育8	小学生の英会話活動 ～ゲームと歌あそび～	小学館	書籍	小学生以上
289	6-0英語教育9	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！人間について	金の星社	絵本	
290	6-0英語教育10	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！平和について	金の星社	絵本	
291	6-0英語教育11	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！環境について	金の星社	絵本	
292	6-0英語教育12	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！いろいろな文化	金の星社	絵本	
293	6-0英語教育13	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！世界の国々	金の星社	絵本	
294	6-0英語教育14	えほんで楽しむ英語の世界	一声社	書籍	
295	6-0英語教育15	アメリカの小学校ではこうやって英語を教えている	徑書房	書籍	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

296	6-0英語教育16	CAN YOU FIND ME?		ACCU	絵本	
297	6-0英語教育17	はじめての英語の歌一歌でおぼえるらくらくイングリッシュ		学研マーケティング	書籍	
298	6-0英語教育18	ヘンリーおじさんの英語でレッスンができる本ーネイティブが教える、子ども英語教室フレーズ集		アルク	書籍	
299	6-0英語教育19	小学校 テーマで学ぶ英語活動 BOOK1		三友社出版	書籍	
300	6-0英語教育20	和の行事えほん Annual Events in Japan Spring & Summer		Ehon House	書籍	
301	6-0英語教育21	和の行事えほん Annual Events in Japan Autumn & Winter		Ehon House	書籍	
302	6-0英語教育22①	your world 英語テキスト		サクソンコートパブリッシング	書籍	
303	6-0英語教育22②	your world 英語テキスト 別売指導用CD		サクソンコートパブリッシング	CD-ROM	
304	6-0英語教育23①	your world 国際理解テキスト		サクソンコートパブリッシング	書籍	
305	6-0英語教育23②	your world 国際理解テキスト 別売指導用CD		サクソンコートパブリッシング	CD-ROM	
306	7-0多文化1	My name is... 世界にひとつだけの名前		角川書店	書籍	
307	7-0多文化2	日本のなかの世界		新幹社	書籍	
308	7-0多文化3	多文化共生のジレンマ		明石書店	書籍	
309	7-0多文化4	多文化共生の学校づくり		明石書店	書籍	
310	7-0多文化5	多文化共生のまちづくり		明石書店	書籍	
311	7-0多文化6	多文化教育 多様性のための教育学		明石書店	書籍	
312	7-0多文化7	幼児のための多文化理解教育		明石書店	書籍	
313	7-0多文化8	多文化教育を拓く		明石書店	書籍	
314	7-0多文化9	多文化・人権教育学校をつくる		明石書店	書籍	
315	7-0多文化10	雨森芳洲と朝鮮通信使かるた		雨森芳洲庵	かるた	
316	7-0多文化11	歴史教科書 在日コリアンの歴史		明石書店	書籍	
317	7-0多文化12	滋賀のなかの朝鮮		明石書店	書籍	
318	7-0多文化13	外国人のためのお弁当 (3ヶ国語：日・中・英語)		関西生命線	書籍	
319	7-0多文化14	多文化共生保育Q&A		大阪保育子育て人権情報研究センター	ブックレット	幼児以上
320	7-0多文化15	アフリカ 理解ハンドブック ーアフリカと私たち		アフリカ日本協議会	ブックレット	
321	7-0多文化16	くらべてみよう！ 日本と世界の 食べ物と文化		講談社	書籍	
322	7-0多文化17	ババラギ		立風書房	絵本	
323	7-0多文化18	世界のあいさつ		福音館書店	絵本	幼児以上
324	7-0多文化19	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ1 アフリカンドレス		明石書店	書籍	
325	7-0多文化20	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ2 アフリカンキッチン		明石書店	書籍	
326	7-0多文化21	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ3 アフリカンリビング		明石書店	書籍	
327	7-0多文化22	たくさんのふしぎ傑作集 手で食べる？		福音館書店	絵本	小中学年以上
328	7-0多文化23	たくさんのふしぎ傑作集 いっぱいの鉛筆のむこうに		福音館書店	絵本	小中学年以上
329	7-0多文化24	世界のじゃんけん		今人舎	書籍	小低学年以上
330	7-0多文化25	世界の外あそび		今人舎	書籍	小低学年以上
331	7-0多文化26	韓国・朝鮮と出会う		国土社	書籍	小学生以上
332	7-0多文化27	中国と出会う		国土社	書籍	小学生以上

国際教育・開発教育 貸出教材目録

333	7-0多文化28	フィリピンと出会う	書籍	書籍	小学生以上
334	7-0多文化29	ブラジルと出会う	書籍	書籍	小学生以上
335	7-0多文化30	多文化子どもの歌集 (CD付)	ブックレット・CD	書籍	幼児以上
336	7-0多文化31	朝鮮をどう教えるか	書籍	書籍	
337	7-0多文化32	オーストラリア発見 (対訳本・ビデオ2本付)	ブックレット・ビデオ	書籍	小学生以上
338	7-0多文化33	いろんな国・いろんなことば 全6巻 (ビデオ付)	絵本・ビデオ	書籍	小学生以上
339	7-0多文化34	ワールドカップメモリーゲーム (2セット)	ワークキット	書籍	小学生以上
340	7-0多文化35	ひょうたん島問題 ～多文化共生をめざして～ (CD付)	ワークキット	書籍	中学生以上
341	7-0多文化36①②	ブラジルボックス	ワークキット	書籍	小学生以上
342	7-0多文化37①②	かるた “わたしん家の食事から”	ワークキット	書籍	小中学年以上
343	7-0多文化38	多文化共生キーワード事典	書籍	書籍	
344	7-0多文化39	ニューカマーの子どもと学校文化	書籍	書籍	
345	7-0多文化40	外国人の子どもと日本の教育	書籍	書籍	
346	7-0多文化41	ブエノス・ディアス、ニッポンー外国人が生きる「もうひとつのニッポン」	書籍	書籍	
347	7-0多文化42	多文化保育論	書籍	書籍	
348	7-0多文化43	乳幼児とその家族への早期支援	ワークキット	ワークキット	
349	7-0多文化44	シミュレーション教材「ひょうたん島問題」	ワークキット	ワークキット	
350	7-0多文化45	多文化共生社会と外国人コミュニティの力	書籍	書籍	
351	7-0多文化46	顔の見えない定住化	書籍	書籍	
352	7-0多文化47	「多文化パワー」社会ー多文化共生を超えて	書籍	書籍	
353	7-0多文化48	まんが クラスメイトは外国人 多文化共生20の物語	書籍	書籍	
354	7-0多文化49	世界あちこちゆかいな家めぐり	書籍	書籍	
355	7-0多文化50	トイレのおかげ	書籍	書籍	
356	7-0多文化51	絵本で育てる情報分析力	書籍	書籍	
357	7-0多文化52	"多文化共生社会の保育者ーぶつかってもだいじょうぶ"	書籍	書籍	
358	7-0多文化53	異文化コミュニケーションー新・国際人への条件	書籍	書籍	
359	7-0多文化54	絵本 世界の食事①<フランスのごはん>	書籍	書籍	
360	7-0多文化55	絵本 世界の食事②<インドのごはん>	書籍	書籍	
361	7-0多文化56	絵本 世界の食事③<韓国のごはん>	書籍	教材セット	
362	7-0多文化57	絵本 世界の食事④<イタリアのごはん>	書籍	カルタ	
363	7-0多文化58	絵本 世界の食事⑤<メキシコのごはん>	書籍	書籍	
364	7-0多文化59	絵本 世界の食事⑥<ドイツのごはん>	書籍	書籍	
365	7-0多文化60	絵本 世界の食事⑦<ブラジルのごはん>	書籍	書籍	
366	7-0多文化61	絵本 世界の食事⑧<中国のごはん>	書籍	書籍	
367	7-0多文化62	絵本 世界の食事⑨<タイのごはん>	書籍	書籍	
368	7-0多文化63	絵本 世界の食事⑩<トルコのごはん>	書籍	絵本	
369	7-0多文化64	絵本 世界の食事⑪<モンゴルのごはん>	書籍	絵本	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

370	7-0多文化65	絵本	世界の食事⑫＜フィンランドのごはん＞	農文協	書籍	
371	7-0多文化66	絵本	世界の食事⑬＜ベトナムのごはん＞	農文協	書籍	
372	7-0多文化67	絵本	世界の食事⑭＜スペインのごはん＞	農文協	書籍	
373	7-0多文化68	絵本	世界の食事⑮＜ペルーのごはん＞	農文協	書籍	
374	7-0多文化69	The World of Street Food	Easy quick meals to cook at home	ニュー・インターナショナル・ジャパン	書籍	
375	7-0多文化70	原木のある森	コーヒーのはじまりの物語	アフリカ理解プロジェクト	書籍	
376	7-0多文化71	非識字体験ゲーム	「ここは、何色？」「はじめてのお見舞い」	滋賀県国際協会	ワークキット	小学4年以上
377	7-0多文化72	「言葉がわからない」体験ゲーム	何が起った？（震災編）	滋賀県国際協会	ワークキット	小学4年以上
378	7-0多文化73	日本と世界のおもしろことわざ	〜ことわざで文化を比較しよう〜	学研教育出版	書籍	
379	7-0多文化74	日本と世界のおもしろことわざ	〜ことわざで文化を比較しよう〜	学研教育出版	書籍	
380	7-0多文化75	日本と世界のおもしろことわざ	〜ことわざで文化を比較しよう〜	学研教育出版	書籍	
381	7-0多文化76	日本と世界のおもしろことわざ	〜ことわざで文化を比較しよう〜	学研教育出版	書籍	
382	7-0多文化77	日本と世界のおもしろことわざ	〜ことわざで文化を比較しよう〜	学研教育出版	書籍	
383	7-0多文化78	日本と世界のおもしろことわざ	〜ことわざで文化を比較しよう〜	学研教育出版	書籍	
384	7-0多文化79	私も「移動する子ども」だった	異なる言語の間で育った子どもたちのライフストーリー	くろしお出版	書籍	
385	7-0多文化80	在日コリアン女性20人の軌跡		明石書店	書籍	
386	7-0多文化81	ぐずぐず言わせて！ わたしらの居場所	「わたしのこと」シリーズ vol.2	(財)神奈川県国際交流協会	書籍	
387	7-0多文化82	先住民族とESD		立教大学ESD研究センター	書籍	
388	7-0多文化83	続・先住民族とESD		立教大学ESD研究センター	書籍	
389	7-0多文化84	教材『CHAMPURREANDO〜世界のウチナーンチュ発！多文化共生』		NPO法人沖縄NGOセンター	教材セット	
390	7-0多文化85	世界のウチナーンチュかるたチャンプレアンド	日本語+英語版	NPO法人沖縄NGOセンター	カルタ	
391	7-0多文化86	3・11後の多文化家族		明石書店	書籍	
392	7-0多文化87	外国にルーツを持つ子どもたち	思い・制度・展望	(財)アジア・太平洋人権情報センター	書籍	
393	7-0多文化88	いつだって、そばにいますよ。		NTT出版	書籍	
394	7-0多文化89	未来をつくる教育ESDー持続可能な多文化社会をめざして		明石書店	書籍	
395	7-0多文化90	異文化間教育ー文化間移動と子どもの教育		明石書店	書籍	
396	7-0多文化91	言葉図鑑	なまえのことばとくらしのことば1 にほんご・えいご・ポルトガルご・スペインご	信成社	絵本	
397	7-0多文化92	言葉図鑑	なまえのことばとくらしのことば2 にほんご・えいご・ポルトガルご・スペインご	信成社	絵本	
398	7-0多文化93	フィリピンかあちゃん奮闘記	in ジャパン	文化社	書籍	
399	7-0多文化94	異文化理解入門		平凡社	書籍	
400	7-0多文化95	外国人から見たニッポン		ディスカヴァー・トゥエンティワン	書籍	
401	7-0多文化96	Playtime		Oxfam	英語絵本	
402	7-0多文化97	Bicycles		Oxfam	英語絵本	
403	7-0多文化98	Home		Oxfam	英語絵本	
404	7-0多文化99	Our Animals		Oxfam	英語絵本	
405	7-0多文化100	At School		Oxfam	英語絵本	
406	7-0多文化101	ばく、いいもの	いっぱい〜日本語で学ぶ子どもたち〜	子どもの未来社	絵本	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

407	7-0多文化102	わたしが外人だったころ	福音館書店	絵本	
408	7-0多文化103	ビビのアフリカ旅行	ポプラ社	書籍	
409	7-0多文化104	まんがで学ぶ 世界の宗教	あさ出版	書籍	
410	7-0多文化105	絵本で学ぶイスラームの暮らし	あすなろ書房	絵本	
411	7-0多文化106	アラブから こんにちは 灼熱、イスラーム、魔人、子育てー未知なるアラブの生活事情	国書刊行会	書籍	
412	7-0多文化107	アイ アム ジャパニーズ これがハーフ芸人の生きる道	ワニブックス	書籍	
413	7-0多文化108	ハーフが美人なんて妄想ですから！！ 困った「純ジャパ」との闘いの日々	中央公論新社	書籍	
414	7-1多文化1	アニニョハシムニカ 素顔の韓国 サワデリカー ぼぼ笑みの国・タイ	アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ	
415	7-1多文化2	スラマシアン インドネシアの子どもたち	アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ	
416	7-1多文化3	マブハイ 陽気なフィリピンの子どもたち	アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ	
417	7-1多文化4	となりに生きる外国人	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
418	7-1多文化5	国際理解 はじめの一步 インドネシア・バリ島編	インドネシア教育振興会	CD	
419	7-1多文化6	Ciranda,Cirandinha	多文化共生センター	CD	
420	7-1多文化7	孤独なツバメたち〜デカセキの子供に生まれて〜	TOブックス	DVD	
421	7-1多文化8	ナニジン？-トモダチ作戦-	(公財) とよなか国際交流協会	DVD	
422	7-1多文化9	こんばんは 墨田区立文花中学校夜間学級	「こんばんは」全国上映		
423	8-0写真1	百年の愚行	紀伊国屋書店	書籍	
424	8-0写真2	「ゴミと宝石」 フィリピン、スモキーマウンテンの子供たち	第三書館	書籍	
425	8-0写真3	イラクに生きる I love Iraq	国土社	書籍	
426	8-0写真4	INDIA Fairs&Festivals	学研	書籍	
427	8-0写真5	Who? 報道されないアフガンの素顔	平和出版	書籍	
428	8-0写真6	地球の仲間たち フォトランゲージ アメリカ合衆国	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
429	8-0写真7	地球の仲間たち フォトランゲージ エクアドル	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
430	8-0写真8	地球の仲間たち フォトランゲージ エチオピア	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
431	8-0写真9	地球の仲間たち フォトランゲージ ガーナ	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
432	8-0写真10	地球の仲間たち フォトランゲージ コートジボアール	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
433	8-0写真11	地球の仲間たち フォトランゲージ コスタリカ	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
434	8-0写真12	地球の仲間たち フォトランゲージ コロンビア	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
435	8-0写真13	地球の仲間たち フォトランゲージ スリランカ	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
436	8-0写真14	地球の仲間たち フォトランゲージ 中国	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
437	8-0写真15	地球の仲間たち フォトランゲージ ニカラグア	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
438	8-0写真16	地球の仲間たち フォトランゲージ ニジェール	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
439	8-0写真17	地球の仲間たち フォトランゲージ ネパール (ニッキー)	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
440	8-0写真18	地球の仲間たち フォトランゲージ ネパール (ブラサンタ)	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
441	8-0写真19	地球の仲間たち フォトランゲージ ハンガリー	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
442	8-0写真20	地球の仲間たち フォトランゲージ パキスタン	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
443	8-0写真21	地球の仲間たち フォトランゲージ バヌアツ	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上

国際教育・開発教育 貸出教材目録

444	8-0写真22	地球の仲間たち	フォトランゲージ	バプアニューギニア	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
445	8-0写真23	地球の仲間たち	フォトランゲージ	パラグアイ	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
446	8-0写真24	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ブルガリア	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
447	8-0写真25	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ホンジュラス	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
448	8-0写真26	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ボツワナ	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
449	8-0写真27	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ボリビア	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
450	8-0写真28	地球の仲間たち	フォトランゲージ	モルディブ	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
451	8-0写真29	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ラオス	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
452	8-0写真30	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ヨルダン	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
453	8-0写真31	地球家族			TOTO出版	写真書籍	
454	8-0写真32	続地球家族			TOTO出版	写真書籍	
455	8-0写真33	地球の食卓			TOTO出版	写真書籍	
456	8-0写真34	祝祭 世界の祭り・民族・文化			クレオ	写真書籍	
457	8-0写真35	地球人記			福音館書店	写真書籍	
458	8-0写真36	地球人生活記			福音館書店	写真書籍	
459	8-0写真37	地球家族フォトランゲージ版			国際理解教育センター	写真	小学生以上
460	8-0写真38①②	地球家族フォトランゲージ版 (A4版)			国際理解教育センター	写真	小学生以上
461	8-0写真39	地球家族フォトランゲージ版 (A3版)			国際理解教育センター	写真	小学生以上
462	8-0写真40	地球の食卓フォトランゲージ (B4版)			国際理解教育センター	写真	小学生以上
463	8-0写真41	MONO変身図鑑			JICA	写真、CD	
464	8-0写真42	写真集「ギフト」 GIFT to children of Angkor			マガジンハウス	書籍	
465	8-0写真43	地球の仲間たち CD-Rom版			開発教育を考える会	CD	
466	8-0写真44①②	写真で学ぼう！ 地球の食卓 学習プラン10			開発教育協会	写真、解説書	
467	8-0写真45	地球のごはん 世界30カ国80人のいただきます			TOTO出版	写真書籍	
468	9-0メディア1	ニュースに耳を傾ける グローバル・エキスプレス第1号			開発教育協会	ブックレット	
469	9-0メディア2	攻撃を超えて グローバル・エキスプレス第2号			開発教育協会	ブックレット	
470	9-0メディア3	難民 グローバル・エキスプレス第3号			開発教育協会	ブックレット	
471	9-0メディア4	イラク グローバル・エキスプレス第4号			開発教育協会	ブックレット	
472	9-0メディア5	戦争報道 グローバル・エキスプレス第5号			開発教育協会	ブックレット	
473	9-0メディア6	メディア・リテラシー 【入門編】			リベルタ出版	書籍	
474	9-0メディア7	NIE ワークシート 100例			晩成書房	書籍	
475	9-0メディア8	時事問題を教室へーグローバルエキスプレス(無料ダウンロード版)			開発教育協会		
476	10-0子ども1	アジアの子ども			明石書店	書籍	
477	10-0子ども2	シエラレオネ 5歳まで生きられない子どもたち			アートン	書籍	
478	10-0子ども3	こどもの権利を知らないで-ブンとミ-チャのものがたり (英訳付)			自由国民社	絵本	
479	10-0子ども4	「日本の子どもは何をして働いているの？」			国際子ども権利センター	絵本	
480	10-0子ども5	世界の子どもたち NGOの現場から			明石書店	書籍	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

481	10-0子ども6	ロサリオの死 -少女の残したもの-	日本ユニセフ協会	書籍	
482	10-0子ども7	子ども地球白書2002-2003	朔北社	書籍	
483	10-0子ども8	児童の権利に関する条約	外務省	ブックレット	
484	10-0子ども9	世界の子どもたちに今おきていること	日本ユニセフ協会	書籍	
485	10-0子ども10	多発する少女買春 子どもを買う男たち	新評論	書籍	
486	10-0子ども11	子どもたちのアフリカ	岩波書店	書籍	
487	10-0子ども12	「ストリートチルドレン・100人の子どもたち」教材パッケージ（ビデオ2本付）	シャプラニール	ワークキット・ビデオ	小高学年以上
488	10-0子ども13	わたし8歳、カカオ畑で働きつづけて	ACE	書籍	
489	10-0子ども14	ワークショップ『大切なものは何ですか?』～子どもたちがうつしたカンボジアの今	エデュケーション・サポート・センター (Edu)	ワークキット	
490	10-0子ども15	スクールセクシャルハラスメント	国際子ども権利センター	書籍	
491	10-0子ども16	子どもの権利条約カードとユニセフポスターセット		ワークキット	
492	10-0子ども17	おいしいチヨコレートの真実～働く子どもたちとわたしたちとのつながり～	ACE	ワークキット	
493	10-0子ども18	もたないばあさんと考えよう世界のこと	講談社	書籍	
494	10-0子ども19	ぼくら地球市民1 戦争なんてもうやめて	大月書店	書籍	
495	10-0子ども20	ぼくら地球市民2 キッズパワーが世界を変える	大月書店	書籍	
496	10-0子ども21	ぼくら地球市民3 わたしと地球の約束	大月書店	書籍	
497	10-0子ども22	どこにいるかわかる?	こぐま社	絵本	
498	10-0子ども23	世界の子どもたちは今-子ども兵士	リブリオ出版	書籍	
499	10-0子ども24	世界の子どもたちは今-児童労働	リブリオ出版	書籍	
500	10-0子ども25	世界の子どもたちは今-子どもの人身売買	リブリオ出版	書籍	
501	10-0子ども26	『ぼくは12歳、路上で暮らしはじめたわけ。——私には何ができますか? その悲しみがなくなる日を夢見て』	合同出版	書籍	
502	10-0子ども27	子どもの参加を促すガイド	j n n e	書籍	
503	10-0子ども28	貧しい国で女の子として生きること 開発途上国からの5つの物語	遊タイム出版	書籍	
504	10-0子ども29	「世界中の子どもに教育を」キャンペーン2011 女の子と女性の教育	「世界中の子どもに教育を」キャンペーン事務局	ワークキット	
505	10-0子ども30	おかえり、またあえたね ストリートチルドレン・トトのものがたり	東京書籍	書籍	小学生～
506	10-0子ども31	ダイヤモンドより平和がほしいー子ども兵士・ムリアの告白	汐文社	書籍	
507	10-0子ども32	このTシャツはどこからくるの?-ファッションの裏側になる児童労働の真実ー	(特活) ACE	ワークキット	
508	10-0子ども33	わたしは13歳、学校に行けずに花嫁になる。	合同出版	書籍	
509	10-1子ども1	I am child! 働かされる子供たち	I L O	ビデオ	
510	10-1子ども2	STOP CHILD LABOUR	I L O	ビデオ	
511	11-0地図1	くらべてわかる世界地図① 暴力の世界地図	大月書店	書籍	
512	11-0地図2	くらべてわかる世界地図② 学校の世界地図	大月書店	書籍	
513	11-0地図3	くらべてわかる世界地図③ ジェンダーの世界地図	大月書店	書籍	
514	11-0地図4	くらべてわかる世界地図④ 福祉の世界地図	大月書店	書籍	
515	11-0地図5	くらべてわかる世界地図⑤ 文化の世界地図	大月書店	書籍	
516	11-0地図6	ワールドバンクミニアトラス	シュプリングガー・フェアーク東京	書籍	
517	11-0地図7	食料の世界地図	丸善	書籍	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

518	11-0地図8	NHKスペシャル データマップ63億人の地図	いのちの地図帳	アスコム	書籍	
519	11-0地図9①②	No Longer Down Under		Hallifax	地図	
520	11-0地図10	世界がみえる 地図の絵本		あすなろ書房	絵本	
521	11-0地図11①②	Mapping our World		Oxfam	ブックレット	小高学年以上
522	11-0地図12	今がわかる 時代がわかる 世界地図 2003年版		成美堂出版	書籍	
523	11-0地図13	今がわかる 時代がわかる 世界地図 2005年版		成美堂出版	書籍	
524	11-0地図14	今がわかる 時代がわかる 日本地図 2005年版		成美堂出版	書籍	
525	11-0地図15	Hunger Map もう一枚の世界地図		国際連合世界食糧計画	ブックレット	小学生以上
526	11-0地図16	Hunger Map ハンガーマップ		国際連合世界食糧計画	ワークキット	
527	11-0地図17	イエティを探せ		ゆまに書房	絵本	
528	11-0地図18	ピーターズマップ		Oxfam	地図	
529	11-0地図19	世界地図 (アフリカ中心)			地図	
530	11-0地図20	<文化の世界地図> 大型地図		グローバルみらい塾	地図	
531	11-0地図21	<文化の世界地図> 解説冊子		グローバルみらい塾	冊子	
532	11-0地図22	EARTH at NIGHT 宇宙から見た夜の地球 授業指導例 (ポスター) 指導書付き		エネルギー教育全国協議会事務局	地図	
533	11-0地図23	MAPS 新・世界地図		徳間書店	地図	
534	12-0国際協力1①②③	JICA フォトランゲージキット		国際協力事業団	ワークキット	
535	12-0国際協力2	いま私たちにできること		国際協力事業団	ブックレット	
536	12-0国際協力3①②	ミレニアム開発目標 とともに生きる地球市民		外務省	ブックレット	
537	12-0国際協力4	人口問題 プリーフィング・キット2001		アジア人口・開発協会	ブックレット	
538	12-0国際協力5	世界人口白書2002 人々・貧困・ひろがる可能性		アジア人口・開発協会	ブックレット	
539	12-0国際協力6	世界子供白書2003		ユニセフ	ブックレット	
540	12-0国際協力7	世界子供白書2004		ユニセフ	ブックレット	
541	12-0国際協力8	世界子供白書2005 危機に晒される子どもたち		ユニセフ	ブックレット	
542	12-0国際協力9	世界子供白書2006 存在しない子どもたち		ユニセフ	ブックレット	
543	12-0国際協力10①②	開発のための教育		ユニセフ	ブックレット	
544	12-0国際協力11①②	地球のともだち ユニセフワークブック		ユニセフ	ブックレット	小高学年以上
545	12-0国際協力12①②	「総合的な学習の時間」とユニセフ		ユニセフ	ブックレット	
546	12-0国際協力13	わたしの権利 みんなの権利		ユニセフ	ブックレット	
547	12-0国際協力14①②	子どもの権利条約 カードブック		ユニセフ	ブックレット	
548	12-0国際協力15①②	ユニセフと世界のともだち		ユニセフ	ブックレット	小学生以上
549	12-0国際協力16①②	国際理解カード		国際協力推進協会	ワークキット	
550	12-0国際協力17	学校と地域がつくる国際理解教育		武蔵野市国際交流協会	ブックレット	
551	12-0国際協力18	学校と地域がつくる国際理解教育 NGO編		武蔵野市国際交流協会	ブックレット	
552	12-0国際協力19	授業に役立つ総合学習の手引き 平成11年度高校教師海外研修に参加して		国際協力事業団	ブックレット	
553	12-0国際協力20	国際理解教育の手引き 先生が見てきた国際協力の舞台 H12中学校		国際協力事業団	ブックレット	
554	12-0国際協力21	国際理解教育の手引き 地球を枕に夢を見よう H12高校		国際協力事業団	ブックレット	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

555	12-0国際協力22	国際理解教育の手引き	H13高校	国際協力事業団	ブックレット	
556	12-0国際協力23	国際理解教育の手引き	H13中学校	国際協力事業団	ブックレット	
557	12-0国際協力24	国際理解教育の手引き	H14高校	国際協力事業団	ブックレット	
558	12-0国際協力25	国際理解教育の手引き	H15小学校	国際協力事業団	ブックレット	
559	12-0国際協力26	協力隊体験を伝えよう2 生きる力を育てるワークショップ集		青年海外協力協会	ブックレット	
560	12-0国際協力27	国連ってなあに？		国連広報センター	ブックレット	
561	12-0国際協力28	みんなの国連		国連広報センター	ブックレット	
562	12-0国際協力29	いっしょにやろうよ 国際ボランティアアINGOガイドブック		三省堂	書籍	
563	12-0国際協力30	市民参加で世界を変える		朝日新聞社	書籍	
564	12-0国際協力31	せかいじゅうにおともだちをつくろう		国際協力推進協会	紙芝居	
565	12-0国際協力32	食べものから世界が見える、どこからきたの？		国際協力推進協会	紙芝居	
566	12-0国際協力33	ごはんのこしていいの？		国際協力推進協会	紙芝居	
567	12-0国際協力34	「援助」する前に考えよう 参加型開発とPLAがわかる本		開発教育協会	書籍	
568	12-0国際協力35	国際協力と開発教育－「援助」の近未来を探る		明石書店	書籍	
569	12-0国際協力36	「国際協力」をやってみませんか？仕事として、ボランティアで、普段の生活でも		小学館	書籍	
570	13-0韓国文化1	一目で見る韓国		太田次郎社	絵本 (ハングル)	
571	13-0韓国文化2	壇君神話		太田次郎社	絵本 (ハングル)	
572	13-0韓国文化3	一目で見る韓国の歴史		太田次郎社	絵本 (ハングル)	
573	13-0韓国文化4	高句麗への旅		太田次郎社	絵本 (ハングル)	
574	13-0韓国文化5	韓国の伝統 (的生活)		太田次郎社	絵本 (韓英)	
575	13-0韓国文化6	韓国の遊び		太田次郎社	絵本 (韓英)	
576	13-0韓国文化7	韓国のシンボル		太田次郎社	絵本 (韓英)	
577	13-0韓国文化8	韓国の礼儀と風習		太田次郎社	絵本 (韓英)	
578	13-0韓国文化9	韓国へ行こう！		太田次郎社	絵本 (韓英)	
579	13-0韓国文化10	ソウルへ行こう！		太田次郎社	絵本 (韓英)	
580	13-0韓国文化11	栗谷李珥		太田次郎社	絵本 (ハングル)	
581	13-0韓国文化12	世宗大王		太田次郎社	絵本 (ハングル)	
582	13-0韓国文化13	李舜臣		太田次郎社	絵本 (ハングル)	
583	13-0韓国文化14	安重根		太田次郎社	絵本 (ハングル)	
584	13-0韓国文化15	柳順寛		太田次郎社	絵本 (ハングル)	
585	13-0韓国文化16	金九		太田次郎社	絵本 (ハングル)	
586	13-0韓国文化17	興夫と懶夫		太田次郎社	絵本 (ハングル)	
587	13-0韓国文化18	お日さまとお月さま		太田次郎社	絵本 (ハングル)	
588	13-0韓国文化19	青大将ソンビ		太田次郎社	絵本 (ハングル)	
589	13-0韓国文化20	孝行娘沈清		太田次郎社	絵本 (ハングル)	
590	13-0韓国文化21	あずき粥婆さんと虎		太田次郎社	絵本 (ハングル)	
591	13-0韓国文化22	一粒の粟で結婚した男		太田次郎社	絵本 (ハングル)	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

592	13-0韓国文化23	五人のカ士（カ持ち）	太郎次郎社	絵本（ハングル）	
593	13-0韓国文化24	新聞記者が高校生に語る 日本と朝鮮半島100年の明日	彩流社	書籍	
594	13-0韓国文化24	ユンノリ物語	太郎次郎社	絵本（ハングル）	
595	13-1韓国文化1	韓国朝鮮のあいさつの言葉	太郎次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
596	13-1韓国文化2	韓国朝鮮の親族呼称	太郎次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
597	13-1韓国文化3	韓国朝鮮料理	太郎次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
598	13-1韓国文化4	民族衣装と紐の結び方	太郎次郎社	バネル	
599	13-1韓国文化5	初誕生日の服と婚礼服	太郎次郎社	バネル	
600	13-1韓国文化6	千字文	太郎次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
601	13-1韓国文化7	ハングル	太郎次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
602	13-1韓国文化8	ウリナラ旅行図と半島図	太郎次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
603	13-1韓国文化9	生活案内標示・交通安全標識	太郎次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
604	13-1韓国文化10	不思議な体	太郎次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
605	13-1韓国文化11	図形	太郎次郎社	バネル	
606	13-1韓国文化12	色	太郎次郎社	バネル	
607	13-1韓国文化13	数字	太郎次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
608	13-1韓国文化14	動物	太郎次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
609	13-1韓国文化15	果物・野菜	太郎次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
610	14-0移民 1	カリナのブラジルとニッポン	JICA横浜海外移住資料館	紙芝居	
611	14-0移民 2	弁当からミックスプレートへ	JICA横浜海外移住資料館	紙芝居	
612	14-0移民 3	ハワイにわたった日系移民	JICA横浜海外移住資料館	紙芝居	
613	14-0移民 4	海を渡った日本人	JICA横浜海外移住資料館	紙芝居	
614	14-0移民 5	移民カルタ	JICA横浜海外移住資料館	カルタ	
615	14-0移民 6	目で見えるブラジル日本移民の百年	風響社	写真集	
616	14-0移民 7	日本・ブラジル 移民カルタ	JICA横浜海外移住資料館	カルタ	

国際教育 講師派遣 プログラムのご案内

(公財) 滋賀県国際協会では、次代を担う子どもたちを国際的に活躍できるグローバル人材として育成するため、国際教育の普及に努めています。

そこで、**当協会発行オリジナル教材を活用した授業・研修会への講師を無償**で派遣することとなりました。

総合学習などへの講師の派遣や出前講座、教材貸出などをさらに積極的に進め、多くの子どもたちが国際感覚を身に付けられるよう支援します。

また、学校現場で自ら国際教育を実践できる教員が増えるよう教員対象の研修会などへの講師派遣も引き続き行っていきます。

講師派遣件数について

滋賀県内 年間 15 件 程度

(※新規依頼校を優先して派遣します。)



当協会発行オリジナル教材の紹介

国際教育研究会 Glocal net Shiga が外国人住民の方々と協力して、開発したオリジナル教材です。



ブラジルボックス

滋賀県に暮らす外国人で最も多いのは、ブラジルの方です。スーツケースの中にブラジルの文化を紹介する小物や写真等をたくさん集めました。身近に触れる機会の多いブラジルをこのボックスを通して感じませんか。



非識字体験ゲーム「ここは、何色?」「はじめてのお見舞い」

言葉(文字)がわからない・読めないことから生じる不安な気持ちや、そのことからどのような不利益を被るかなどを疑似体験できる教材。この学習を通して、途上国の識字率の低さについて関心を高めたり、すべての人にとって暮らしやすい多文化共生の社会づくりのために必要な取り組みについて考えたりする学習などに活用いただけます。

わたしん家の食事から カードゲーム版

滋賀県に暮らす外国人住民の協力のもと製作した「カルタ わたしん家の食事から」を「カードゲーム版」としてリニューアルしました。世界の豊かな食文化について学ぶと同時に、世界の多様な文化について関心を高め、ちがいを尊重できる姿勢を育むアクティブラーニングに適した教材です。



「言葉がわからない」体験ゲーム 何が起った? (震災編)

「言葉が通じないところで、大地震に遭遇したら...?」という設定のシミュレーションゲーム。動画を使いながら、安心・安全に避難できるかを疑似体験する内容になっています。日本語から情報を得ることに難しさを感じる方々の日々の生活での苦労や不安について、さらに広く理解を促すために開発した教材です。



お申込みから講師派遣までの流れ

1. 問合せ

講座を実施したい日の少なくとも1ヵ月前までに、下記連絡先宛てにご連絡ください。

2. 必要書類の提出

所定の申込書を、ご郵送・FAX・MAIL のいずれかでご提出ください。また、事前事後学習の予定や講座の位置付けがわかる年間計

画などがあれば、あわせてご提出をお願いします。

3. 打合せ

講師が決定次第、講師名と連絡先についてご連絡します。直接講師に連絡を取り、期待する学習のねらいや内容、準備物など細かい段取りについて打合せを行ってください。

4. 講座の実施

5. 報告書の提出

実施後、児童生徒・受講者の感想などをご報告ください。



出前授業プログラム例

わたしん家の食事から カードゲーム版 「世界の多様な食文化を理解しよう！」

1) カード合わせゲーム体験

9 か国出身の方々の食文化について、まずは個々に穴埋めシートに回答を予想して記入しよう。次に、グループで協力して、回答にあった絵カードの組み合わせとなるようにグループで相談しながらカードを揃えよう！

→グループで相談しながら進めるので
まさにアクティブラーニング！

2) 答え合わせ

3) ふりかえり 全体での感想・発見の共有

→初めて知ったこと、驚いたこと、
不思議に感じたことは、どんなこと？

4) 解説

文化・風習・宗教など、様々な背景をもとに世界の多様な文化について解説します。

何が起きた？(震災編)

「ピクトグラム(絵文字)を作ってみよう！」

1) 何が起きた？(震災編)の体験

→言葉が通じない所で震災に遭遇したら…

2) 誰にでもわかる避難所の看板を作ろう

子どもからお年寄り、外国の方など、誰にでも理解できる「避難所」を示す看板を作ってみよう！

3) 作品発表

どんな点に工夫や配慮したかについて、グループ発表しよう。

→私たちの町の標示は、誰にとってもわかりやすくなっている？



その他、学習のねらいに沿ったプログラムをご提案し、ご要望にお応えします。

滋賀県国際交流員など外国人ゲストの派遣についても対応いたします。

お気軽にご相談、お問い合わせください。

ここは、何色？

「言葉がわからないって、どんな気持ち？」

1) ここは、何色？の体験

世界各国の言語で書かれた色を示す単語を色辞書ポスターから探し出し、シートに色付けしてみよう！楽しいぬり絵アクティビティー。

→どんな図柄がで上がるのかな！？

2) 文字から情報が得られない人の気持ちって？

外国人ゲストから、日本語がわからなかった時の気持ちや日常生活で困ったことなどについて聞いてみよう。(外国にルーツを持つ人の体験談を読んでみよう。)

→身の回りに言葉がわからず困っている人はいないかな？
どのような配慮が必要なのか考えてみよう。

お問合せ・お申込先

(公財) 滋賀県国際協会

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20 ビアザ淡海 2 階

(電話) 077-526-0931

(FAX) 077-510-0601

(E-mail) siamail@mx.bw.dream.jp

(HP) <http://www.s-i-a.or.jp/kokusai/index.htm>

(公財) 滋賀県国際協会 オリジナル教材 講師派遣プログラム <申込書>

記入日： 年 月 日

依頼団体名	学校・団体名	
	代表者名	
連絡先	住所：〒	
	電話：	FAX：
	担当者名：	
	E-mail：	
実施希望日時	第1希望日	年 月 日（ ）
	第2希望日	月 日（ ）
	第3希望日	月 日（ ）
	時 間	: ~ :
対象者・人数	対象者（学年）：	人数：人
希望プログラム （使用教材） ※☑をしてください。	☐ ブラジルボックス ☐ 非識字体験ゲーム「ここは、何色？」 ☐ 非識字体験ゲーム「はじめてのお見舞い」 ☐ 「言葉がわからない」体験ゲーム 何が起こった？（震災編） ☐ わたしん家の食事からカードゲーム版	
講師に関する希望	講師の人数 名	
	講師決定希望期限 年 月 日頃まで その他	
行事計画 ※資料等あれば、添付してください。	ねらい：	
	年間計画における本行事の位置づけ：	
	事前・事後の取組み：	
利用実績	☐ 今回初めて過去に利用した経験がある（利用年度 年） ☐ 講師派遣 ☐ 貸出教材利用 ☐ その他（ ）	
備 考		

※この様式は、当協会HPよりダウンロード可能です。⇒ <http://www.s-i-a.or.jp/kokusai/index.htm>
送付先： （公財）滋賀県国際協会 〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階
FAX：077-510-0601 E-mail: omori@s-i-a.or.jp

国際教育 地球市民を地域とともに育てよう Part 14 報告書

発行日 平成28年（2016年）3月

発 行 公益財団法人滋賀県国際協会

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20

ピアザ淡海 2 階

電話 077-526-0931

FAX 077-510-0601

E-mail siamail@mx.bw.dream.jp

URL <http://www.s-i-a.or.jp>

印 刷 佐々木印刷有限公司



分科会1
「わたしん家の食事から カードゲーム版
～食文化からみえる異文化～」



分科会2
「ブラジルでの経験を子どもたちに
～JICA教師海外研修実践授業報告～」



分科会3
「フィリピン紹介グッズ『ハロハロ』とともに
フィリピンを体験しよう!」



分科会4
「堀川ユネスコクラブのキセキ
～国際教育を実践するクラブの歩み～」